

## ア

アガスタチエ	42
アカンサス	42
アキレギア	42
アゲラタム(花壇品種)	2
アゲラタム(切花品種)	62
アスター(ポット品種)	4
アスター(切花品種)	2,62
アネマンセラ	10
アネモネ	2,62
アブチロン	2
アラビス	42
アリッサム	2
アルケミラ	42
アルストロメリア	2
アルテルナンセラ	2
アルメリア	44
アレナリア	44
アンジェロニア	2
アンミ	2
イソトマ	20
イソレピス	10
イベリス(センバヴィエンス種)	50
イレシネ	20
インカルビレア	20
インパチエンス	20
エキナセア	48
エッグプラント	68
エラグロステイス	10
エリゲロン	48
エリシマム	16
オステオスペルマム	28
オレガノ(シンプリリーハーブ)	68

## カ

カーベラ	18
ガイラルディア	48
ガウラ	48
ガウルテリア	48
ガザニア	18
カリブラコア	6
カルタムス	6
カレックス	10
カンパニユラ(ポット品種)	44
カンパニユラ(切花品種)	6,62
キューカンバー(キュウリ)	68
キュウリ	68
キンギョウソウ(花壇品種)	36
キンギョウソウ(切花品種)	36,62
クヘア	12
クラスベディア	12
クロッサンドラ	12
コーレリア	12
コスモス	12
コリウス	8
コリネフォラス	10
コレオプシス	44
ゴンブレナ(センニチコウ)	18

## ク

サクシフラガ(サクシフリジ)	58
サルビア(一年生品種)	36
サルビア(宿根品種)	56
ジギタリス	46
ジニア	40
ジブソフィラ	48
ジュンカス	10
ジル(ディル)	68
シレネ	58
シンプリーサラダ	68
スカッシュ	70
スカビオサ	58
スクテラリア	36
スターティス(リモニウム)	38
ズッキーニ	70
スティパ	12
ストック	26,64
ストロベリー	70
スナップドラゴン(花壇品種)	36
スナップドラゴン(切花品種)	36
スパイランセス	38
セージ(シンプリリーハーブ)	70
ゼラニウム(アイビー)	18
セロシヤ(花壇品種)	6
セロシヤ(切花品種)	8,62
センニチコウ(ゴンブレナ)	18,64

## コ

ダイアシア	14
ダイアンサス(花壇品種)	14
ダイアンサス(切花品種)	14
ダイコンドラ	14
タイム(シンプリリーハーブ)	70
ダスティミラー	14
ダリア	12
タリナム	38
ツンベルギア	38
ディル(ジル)	68
デカンブシア	12
デルフィニウム	46,62
トマト(エアールムタイプ)	70
トマト(各品種)	70
トラキリウム(ユウギリソウ)	38,66
トレニア	38

## ク

ニーレンベルギア	28
ニコチアナ	28
ニューギニアインパチエンス	20
ネベタ	54
ネメシヤ	26

## ク

バーバスカム	58
バーベナ(一年生品種)	36
バーベナ(宿根品種)	59
ハイビスカス(アセットセラ種)	20
ハイビスカス(モシェウトス種)	50
バコパ	4
バジル	68

バジル	68
バセリ(シンプリリーハーブ)	68
バンジー	28
ビオラ	40
ヒポエステス	20
ヒューケラ	48
ピンカ	38
フェスツカ	10
フューザブルズ	16
ブラジリアンファイアワークス	4
プリムラ(一年生品種)	36
プリムラ(宿根品種)	56
プレクトランサス	34
フロックス	34
プロウリア	4
ペゴニア	4
ペチュニア	30
ペッパー(オーナメンタル)	28
ペッパー(カブシカム)	68
ペッパー(スイートペッパー)	68
ペッパー(ハラペニョ)	68
ヘリアンサス(花壇品種)	18,64
ヘリアンサス(切花品種)	18,64
ヘリクリサム	18
ベロニカ	60
ペロフシキア(ロシアンセージ)	56
ペンステモン	54
ペンタス	28
ポーチュラカ	34
ポーチュラカ(スベリヒユ)	36
ポビー	56
ボルフィロコマ	4
マティオラ	26,64
マトリカリア	26,64
マリーゴールド	24
ミオソティス	26, 54
ミレット(オーナメンタル)	26
モナルダ	54

## ク

ユウギリソウ(トラキリウム)	38,66
ユーフォルビア	16
ラパテラ	20
ラベンダー	50
リシアンサス(ポット品種)	22
リシアンサス(切花品種)	22,64
リナリア	22
リモニウム(スターティス)	38
ルエリア	36
ルズラ	12
ルドベキア	56
レイセステリア	20
ローズマリー(シンプリリーハーブ)	70
ロベリア	22
ロベリア(宿根品種)	54

## アメリカ農務省植物耐寒性区分とその年間最低平均温度帯

ゾーン(区分)	平均温度帯(華氏)	平均温度帯(摂氏)
1	-50 F° 以下	-46 ℃ 以下
2	-45 から -40 F°	-46 から -40 ℃
3	-40 から -30 F°	-40 から -35 ℃
4	-30 から -20 F°	-35 から -29 ℃
5	-20 から -10 F°	-29 から -23 ℃
6	-10 から 0 F°	-23 から -18 ℃
7	0 から 10 F°	-18 から -12 ℃
8	10 から 20 F°	-12 から -7 ℃
9	20 から 30 F°	-7 から -1 ℃
10	30 から 40 F°	-1 から 5 ℃
11	40 F° 以上	5 ℃ 以上

アメリカ農務省植物耐寒性区分(USDA Plant Hardiness Zone)とは、アメリカの過去の気象統計により、最低平均気温5F°(華氏)ごとに地域を区分し、植物がどの地域まで耐寒性があるかを表した指標

## 培地の水分レベル

	レベル 1 乾燥	レベル 2 適度に乾燥	レベル 3 標準(中庸)	レベル 4 適度に湿潤	レベル 5 湿潤
培地の色調	明るく自然な茶色または灰色	明るい茶色	茶色ないし黒褐色	黒褐色	濃い黒褐色。水で光っている状態
手で触れたときの培地の感触	培地中に水分がなく、乾いている状態	培地の表面を押すと、軽くあとが残る	培地の表面を押すと、小さな水滴を生じる	培地の表面に軽く触れると、水が容易に浸み出す	手を触れなくても培地から水が滲み出す
培地の性状	培地が茶色の状態では、ざらついて自由にはぐせる	圧力を加えると、わずかに粒子どろつき程度	固まっている状態だが培地そのものの重みで亀裂を生じる	容易に固形化して、そのかたまりが分離しない状態	培地は、半液体状の粘稠性を有する

## GrowerFacts(グロウワーファクト)のダウンロード:

パンアメリカン・シードのウェブサイト(panamseed.com)から、どなたでもグロウワーファクト(詳しい栽培資料)のダウンロードが可能です。

手順1. 栽培資料チャート(2～70ページ)の左端にあるグロウワーファクトの欄に「✓」があるかを確認。「✓」があればダウンロードが可能。

手順2. panamseed.comのサイトに入る。

手順3. 画面上のメニューから「culture」をクリック(図1、囲い線を参照)。

手順4. 画面が変わったら、「Select a plant class to view series and multilingual GrowerFacts」という行が出るまでスクロールダウンする(図2、囲い線参照)。

手順5. ダウンロードしたいグロウワーファクトの植物名をクリック(図2の矢印はAngeloniaの位置)する。

手順6. 例えば「セレナ」をダウンロードしたい場合は、「Serena Angelonia」の項目の「Japanese」をクリック(図3の矢印)する。

手順7. ファイルの形式はpdfなので、必要に応じて保存するか、プリントアウトする。

※ 現在(2015年5月)、栽培資料(グロウワーファクト)の日本語版を作成中です。一部の資料については翻訳が遅れておりますが、随時アップデートされる予定です。できるだけ早い完成を予定しておりますので、もうしばらくお待ちいただくようよろしくお願いたします。

## 標準肥料濃度

肥料のレート	窒素濃度(PPM)	EC (mS/cm)
レート 1	100ppm以下	EC 0.7以下
レート 2	100から175ppm	EC 0.7から1.2
レート 3	175から225ppm	EC 1.2から1.5
レート 4	225から300ppm	EC 1.5から2.0
レート 5	300ppm以上	EC 2.0以上

## 栽培資料中の表記等:

COT: コート種子  
DTL: デイテイルド種子  
FCS: フィルムコート種子  
MSP: マルチベレット種子  
PEL: ペレット種子  
PMPL: プレシジョンマルチベレッ種子※  
PRM: プライム種子  
SCR: スキャリアイド種子  
SED: ローシード(普通種子)

※ フューザブルズに用いられる、均一でひじょうに正確な種子粒数のカウントされ、包埋されている高精度マルチベレット

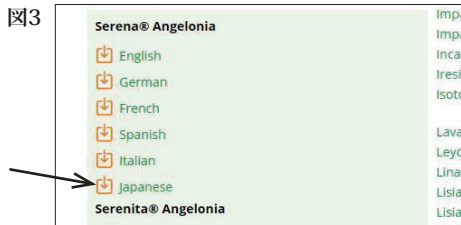
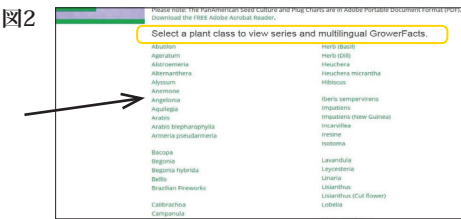
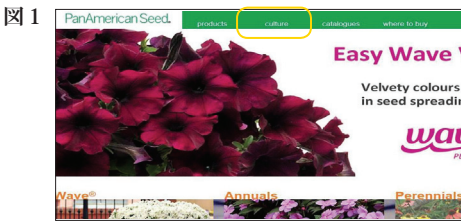
## 日照・配置条件:

☉ 日あたりの良い場所

☂ 一時日陰、半日陰

☘ 日陰

【注意点!】プロダクト・インフォメーション・ガイドのご利用においては、ここで提示されている栽培情報は基本的な指標としてご利用ください。栽培期間などは、生産地の立地条件や作型、また施設など個々の環境や条件によって異なります。また殺菌・殺虫薬剤や生長制御処理剤の処理方法については、あくまでもガイドラインのひとつとして提示をしております。これらの使用については、当該国や地域の法令や規則を遵守し、注意書きや使用方法に従って正しくご利用ください。



グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットパック等							
✓	アブチロン <i>A. x hybridum</i> (Flowering Maple, Chinese Bell Flower)	F1 ベラ・シリーズ	☀️	300 粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	3	3-5	1本定植: 10-11cm、 13cmポット 2-3本定植: 15-16cm 3-4本定植: 20cmポット 4-6本定植: 25cmポット等	18-21℃	16-18℃	-	6-8(春期) 8-10(秋期)	7-10(春期) 9-12(秋期)	分枝の能力を高め株姿をよくするために、十分なスペーシングをとる	35-45 cm	35-45 cm	✓	秋作も可能で、春、秋ともにポットやバスケットのほか、カラーボールなどに最適な品種
✓	アゲラタム <i>A. houstonianum</i>	F1 ハイタイト・シリーズ	☀️	500 粒/グラム	PEL	406穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	3	4	9cm、10.5cm、15cmポット等	21-27℃	14-17℃	-	7-9	7-9	葉数を得るためには、低濃度の矮化剤を複数用いることを推奨	35-40 cm	30 cm		ポット生産や造園に向いている品種
✓	アルストロメリア <i>A. x hybrida</i>	F1 ジャジー™・シリーズ	☀️	33 粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	する	1週目: 22-24℃ 2-4週: 5-7℃	21-28 (幼根発生まで)	8-9	15cm以上のポット、コンテナ	16-18℃	11-14℃	-	-	20-23(秋期) 12-17(春期)	発芽段階の管理では、栽培資料(GrowerFacts)に従った手順をとることが望ましい	25-40 cm (ポット植え)	20-30 cm		
✓	アルテルナンセラ <i>A. dentata</i>	パープルナイト	☀️	614 粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	3-4	5-6	1本定植: 9-10.5cm、 カットパック 3本定植: 15 cmポットなど	18-24℃	17-18℃	6-7	6-7	7-8	光条件が強いと発色がより濃く現れる	45-90 cm	60-90 cm	✓	コンテナ生や造園に最適な品種
✓	アリッサム <i>Lobularia maritima</i>	クリアクリスタル™・シリーズ	☀️	2,500-3,100 粒/グラム	SED	200から288が最適	不要	21-22℃	3-4	4	9-10.5cmポット	16-24℃	13-16℃	4-6	7	-	温度の低い条件を好む植物なので注意する。露地栽培(ハウスの外)や夜温が低い条件にあると、花色がはっきりと現れる	15-25 cm	30-35 cm	✓	香りのある大輪種で、ガーデンパフォーマンスに優れている
	アリッサム <i>Lobularia maritima</i>	イースターボネット・シリーズ	☀️	2,700-3,600 粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	不要	20-22℃	2-3	4-5	カットパック 9cmポット	13-21℃	10-14℃	5	-	-	1穴あたり3から5粒の多粒播きを推奨	10-25 cm	25-30 cm	✓	
✓	アリッサム <i>Lobularia maritima</i>	スノークリスタルズ	☀️	2,500-3,100 粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	不要	18-21℃	2-3	4-5	9-10.5cm、 カットパック	13-21℃	10-14℃	6-7	6-7	-	1穴あたり3から5粒の多粒播きを推奨	15-25 cm	30-35 cm	✓	
	アンミ <i>A. majus</i>	カサブランカ		1,700-2,000 粒/グラム		288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	20-22℃	3-5	4-6	ポット、または露地定植向き	12-30℃				14-18	揃いがよく、無加温あるいは施設外での効率生産が可能	100-125 cm	20-25 cm		露地定植向き。切花用途も可
	アンミ <i>A. majus</i>	グレースランド		1,700-2,000 粒/グラム		288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	20-22℃	3-5	4-6	ポット、または露地定植向き	12-30℃				14-18	揃いがよく、無加温あるいは施設外での効率生産が可能	100-140 cm	20-25 cm		露地定植向き。切花用途も可
✓	アネモネ <i>A. coronaria</i>	モナリザ™・シリーズ	☀️	1,850 粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	16-18℃	10-14	8	10cmまたは15cmポット等	15-18℃	13℃	-	12	12	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目も参照	45 cm (ステム長)	15 cm	✓	北半球における通常の作型では、3月から6月に播種が始まり、10月から翌年の4月ころまでが収穫シーズン。一方の南半球では、9月から12月に播種が始まり、翌年の4月から10月ころまでが収穫シーズン持
✓	アンジェロニア <i>A. angustifolia</i>	F1 セレナ™・シリーズ	☀️	1,000 粒/グラム	PEL	406穴、またはそれ以上の容量	不要	22-25℃	4-5	5-6	1本定植: 9-10.5cm 3本定植: 15-16cm、 15-18cm等	19-24℃	18-19℃	8-9	9-10	10-11	発芽時は光が必要。比較的、乾燥した管理をするか苗を枯らせないように注意する。温度が18℃を下回ると生育が遅くなる	25-30cm (温暖な条件では約5cm長く育つ)	30-35cm	✓	ピンチは加えない。ピンチすると開花の遅れだけではなく、株姿に影響する
✓	アンジェロニア <i>A. angustifolia</i>	F1 セレニータ™・シリーズ	☀️	1,000 粒/グラム	PEL	406穴、またはそれ以上の容量	不要	22-25℃	4-5	5-6	1本定植: 9-10.5cm 3本定植: 15-16cm、 15-18cm等	19-24℃	18-19℃	8-9	9-10	10-11	発芽時は光が必要。比較的、乾燥した管理をするか苗を枯らせないように注意する。温度が18℃を下回ると生育が遅くなる	20-25cm (温暖な条件では約5cm長く育つ)	30-35cm	✓	ピンチは加えない。ピンチすると開花の遅れだけではなく、株姿に影響する。セレナよりもコンパクトな草姿で、矮化剤の処理も少なく済む
	アスター <i>Callistephus chinensis</i>	メテオ・シリーズ	☀️	420粒/グラム	SED	200穴トレイ	する	21℃	4-8	4-5	切花品種	15-24℃	10-15℃	-	-	13-16	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目も参照	80-100 cm	-		

グローワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励される鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど							
	アスター <i>Callistephus chinensis</i>	ポッティンパティオ・シリーズ	☀	420粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	21℃	4-8	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	18-24℃	13-18℃	8	8	-	冬場から春先の短日条件の期間では播種から90日前後で開花する	15 cm	15 cm				造園用途には不向きな品種
✓	バコパ <i>Sutera cordata</i>	- プレートピア™ - スノートピア™	☀	500-700粒 (MSP)/グラム	MSP	128穴、またはそれ以上の容量	不要	20-23℃	4	3-4	1本定植: 10cm前後、5-6本定植: 25cm/バスケット等	16-24℃	13-16℃	-	4-6	8-9	矮化剤の使用や施設外で栽培することで、株をさらにコンパクトすることが可能。発芽時は十分な水分と光を与えて、マルチベレットの融解を促させ、最適な条件を整える	15 cm	45-60 cm				バスケットやコンテナでの仕立てると最高のパフォーマンスが期待できる品種
✓	ベゴニア <i>B. x hybrida</i>	F1ベビーウイング™・シリーズ	☀	1,000粒/グラム	PEL	406穴、またはそれ以上の容量	不要	22-27℃	7-10	7-8	1本定植: 10cm前後、12cmポット 1-2本定植: 15cmポット 3本定植: 16cmポット 4本定植: 25-30cmバスケット等	18-21℃	16-18℃	-	5-7	5-7	最初の本葉が展開するまでは、培地の水分量を高く維持する。移植後、必要であれば、ごく軽く矮化剤(サイコセル300ppmとBナイン2,500ppmのタンクミックス)を散布する。ベビーウイングはボンザイやスマジックには過度に反応するので注意が必要	30-38 cm	25-30 cm	✓			
✓	ベゴニア <i>B. x hybrida</i>	F1ドラゴンウイング™・シリーズ	☀	1,000粒/グラム	PEL	200穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	7-10	7-8	1本定植: 10.5cm前後、1-2本定植: 14-15cmポット 2-3本定植: 16-20cmポット 1-2本定植: 15-18cmコンテナ 4本定植: 25-30cmバスケット等	18-21℃	16-18℃	-	7-9	7-11	最初の本葉が展開するまでは、培地の水分量を高く維持する。移植後、必要であれば、丈の制御のためボンザイ3-5ppmを散布	30-38 cm	38-45 cm	✓			
✓	ベゴニア <i>B. x hybrida</i>	グリフォン	☀☀	1,000粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-26℃	10-12	8-9	1本定植: 10.5-11 cm 2本定植: 15cm 3本定植: 20cm 4本定植: 25-30cm	18-25℃	17-19℃	-	5-6	7-11	発芽を成功させるには、培地を十分に湿らせ相対湿度を高くすることが重要な条件	35-40 cm	40-45 cm	✓			
✓	ベリス(ペリイズ) <i>B. perennis</i>	ベリッシュマ・シリーズ	☀	750粒/グラム	PEL	406穴、またはそれ以上の容量	する	18-22℃	3-5	5	カットバック、9-10.5cmポット 3本定植: 12.5-13cmポット	16-18℃	5-7℃	6-10 (北米の秋、春の条件)	6-10 (北米の秋、春の条件)	13-15 (春期) 7-9 (北欧の秋の条件)	苗の揃いを良くするために、粗めのバーミキュライトで普通の厚さで覆土する	15-25 cm	13-20 cm	✓			障害が発生しない範囲で、できる限り温度の低い条件管理する。促成をかける場合は、出荷の約4週間前から10-12℃の温度条件で管理する
	ベリス(ペリイズ) <i>B. perennis</i>	メディチ・シリーズ	☀	5,500粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	18-22℃	3-5	4-5	カットバック、9-10.5cmポット 3本定植: 12.5-13cmポット	16-18℃	5-7℃	14	14	-	苗の揃いを良くするために、粗めのバーミキュライトで普通の厚さで覆土する	20 cm	13-20 cm	✓			温度がより低い条件で、ダブルの花をより多く得ることが得られる品種。二年生の作型で生産するとより良い株姿になる
✓	ポルフィロコマ (ブラジリアンファイアワークス) <i>Porphyrocoma pohliana</i>	マラカス	☀	524粒/グラム	SED	288穴トレイ (400穴前後のサイズも可能)	する	18-24℃	4-5	5-6	1本定植: 9-10.5cmポット 3本定植: 15-16cmまたは15-18cmポット	22-27℃	19-20℃	7-8	7-8	7-9	高い温度を好む植物なので、生育の早晩は温度条件に大きく依存する	15-20 cm	20-25 cm	✓			
	プロワリア <i>B. speciosa major</i>	ベルズ・シリーズ	☀	4,400粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	24-26℃	7-15	5	10cm前後のポット、または25cmバスケット	16-18℃	16-18℃	-	9-11	11-13	開花には長日条件が必要	25-30 cm	30-35 cm				



グローワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス		
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど								
✓	カリブラコア <i>C. x hybrida</i>	クレーブ・サンセット		860粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	オープンショナル	20-25℃ (最適条件としては22.5℃。発芽時の温度管理の詳細については、グローワーファクトを参照)	5-7	5-6 (288穴トレイ) 7-8 (より大きなサイズのトレイ)	1本定植: 10.5-15cmポット 3本定植: 25cm 5本定植: 25-30cmコンテナ	13-18℃	13-18℃	-	7-8	9-11	開花に際しては少なくとも11時間の日長が必要。DLI(日積算日照量)としては、10 moles m <sup>2</sup> d <sup>-1</sup> 以上を推奨。Daminozide(Bナイン)の使用では葉にクロロシスが現れることがある(詳しくはグローワーファクト、または巻末の栽培資料を参照)	25-35 cm	30-40 cm			頂芽の勢いが強すぎると、分枝が疎になるので注意が必要。原因としては、苗を長く置きすぎたことによる根詰まりや徒長、日積算日照量(DLI: 10 moles m <sup>2</sup> d <sup>-1</sup> )を維持不足、またプラグ育苗時の胚軸制御が不十分なことがある(詳しくはグローワーファクト、または巻末の栽培資料を参照)		
※巻末に栽培資料を添付																								
✓	カリブラコア <i>C. x hybrida</i>	カブルーム・シリーズ		860粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	オープンショナル	20-25℃ (最適条件としては22.5℃。発芽時の温度管理の詳細については、グローワーファクトを参照)	5-7	5-6 (288穴トレイ) 7-8 (より大きなサイズのトレイ)	1本定植: 10.5-15cmポット 3本定植: 25cm 5本定植: 25-30cmコンテナ	13-18℃	13-18℃	-	7-8	9-11	開花に際しては少なくとも11時間の日長が必要。DLI(日積算日照量)としては、10 moles m <sup>2</sup> d <sup>-1</sup> 以上を推奨。Daminozide(Bナイン)の使用では葉にクロロシスが現れることがある(詳しくはグローワーファクト、または巻末の栽培資料を参照)	20-30 cm	25-35 cm			頂芽の勢いが強すぎると、分枝が疎になるので注意が必要。原因としては、苗を長く置きすぎたことによる根詰まりや徒長、日積算日照量(DLI: 10 moles m <sup>2</sup> d <sup>-1</sup> )を維持不足、またプラグ育苗時の胚軸制御が不十分なことがある(詳しくはグローワーファクト、または巻末の栽培資料を参照)		
※巻末に栽培資料を添付																								
✓	カンパニユラ <i>C. medium</i>	カンパーナ・シリーズ	☀️	普通種子: 3,600-4,800粒/グラム ペレット種子: 3,700-4,300粒/グラム	SED/ PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	20-22℃	4-5	7-8		15-21℃	12-15℃	-	-	10-14	育苗および栽培については62ページからの切花の項目も参照	75-85 cm	-					
	カルサムス <i>C. tinctorius</i>	グレネード・シリーズ		25-30 粒/グラム	FCS	直播き(または180穴以上の容量)	土で厚く覆土する	20-22℃	2-3	1½-2½	ポット、または露地定植向き	12-18℃				10-16(直播きから仕上がりまで)	マンガン欠乏にならないように肥料を与える	80-100 cm	20-25 cm	✓		直根植物なので、マンガン欠乏にならないよう直播きが望ましい		
	カルサムス <i>C. tinctorius</i>	ザンジバル		25-30 粒/グラム	FCS	直播き(または180穴以上の容量)	土で厚く覆土する	20-22℃	2-3	1½-2½	ポット、または露地定植向き	12-18℃				10-16(直播きから仕上がりまで)	マンガン欠乏にならないように肥料を与える	80-100 cm	20-25 cm	✓		直根植物なので、マンガン欠乏にならないよう直播きが望ましい		
	セロシア <i>C. argentea var. plumosus</i>	グロー・シリーズ	☀️	1,100粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	24℃	2-4	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	18-21℃	13-18℃	6-7	6-7	-	通常生産の他、10cm前後のポットへの多粒播きなどの仕立ても可能な品種	25-30 cm	20-25 cm	✓		株をコンバクトに仕上げるために、長日条件では矮化剤による処理が1、2回必要とされる。例えば北ヨーロッパのような気候条件であれば、Bナインを1、2回ごく軽い濃度で散布すると効果が見られる		

グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど							
✓	セロシア <i>C. cristata</i>	ボンベイ・シリーズ		普通種子: 750-1,000粒/ グラム ペレット種子: 200-250粒/ グラム フィルムコート: 700-950粒/ グラム	SED/ PEL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	20-22℃	3-4	2-3		開花前: 18-24℃ 開花後: 16℃	開花前: 17-18℃ 開花後: 15℃	-	-	10-14	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目も参照	70-100 cm	-				
	セロシア <i>C. plumosa</i>	アラボーナレッド		普通種子: 1,000-1,500粒/ グラム フィルムコート: 1,500-2,200粒/ グラム	FCS	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-22℃	2-4	3-4	10-13cmポット	18-21℃	15-16℃	8-10	9-12	-		25-35 cm	25-38 cm				株が成熟する前に花芽をつけないように、14時間以上の日長条件でプラグ育苗をする。また培地を乾かせ過ぎないように注意する
	セロシア <i>C. cristata</i>	ファーストフレーム・シリーズ		普通種子: 1,000-1,500粒/ グラム フィルムコート: 1,500-2,200粒/ グラム	FCS	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-22℃	2-4	3-4	9-10.5cmポット 3本定植: 12.5-13cmポット	18-21℃	15-16℃	8-10	9-12	-		35-50 cm	25-40 cm				株が成熟する前に花芽をつけないように、14時間以上の日長条件でプラグ育苗をする。また培地を乾かせ過ぎないように注意する
✓	セロシア <i>C. plumosa</i>	アイスクリーム・シリーズ		1,500-2,400粒/ グラム	FCS	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-22℃	5-7	3-4	カットバック、 9-10.5cm、 または13cmポット	18-21℃	15-16℃	8-10	9-12	-	培地を乾燥させ過ぎて根を乾かさないように注意する	25 cm	30 cm	✓			株が成熟する前に花芽をつけないように、14時間以上の日長条件でプラグ育苗をする。また培地を乾かせ過ぎないように注意する
✓	セロシア <i>C. plumosa</i>	サンデイ・シリーズ		普通種子: 1,500-2,400粒/ グラム フィルムコート: 1,550-2,100粒/ グラム	SED/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	20-22℃	3-4	2-3		開花前: 18-24℃ 開花後: 16℃	開花前: 17-18℃ 開花後: 15℃	-	-	12-16	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目も参照	70-100 cm	-				
✓	セロシア <i>C. spicata</i>	コスモ・シリーズ		1,500-2,400粒/ グラム	FCS	288穴、またはそれ以上の容量	不要	21-22℃	2-4	3-4	カットバック、 9-10.5cm、 または13-15、 18cmポット	18-20℃	17-18℃	9-11	10-12	10-12	培地を乾燥させ過ぎて根を乾かさないように注意する	20 cm	20-25 cm	✓			
	セロシア <i>C. spicata</i>	スパイキー・シリーズ		1,400-1,700粒/ グラム	FCS	406穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-22℃	3-5	3-4	10-13cmポット	18-20℃	16-17℃		11-14	12-15	短日に反応しやすい品種。Bナイン系の矮化剤の効果が現れやすい	40 cm	20-30 cm	✓			
	コバエ <i>C. scandens</i>			13粒/グラム	SED	72穴、またはそれ以上の容量	する	21℃	14-21	6	20cm前後のコンテナ、ポット	20-24℃		-	-	-	北アメリカの気候であれば、4月頃から株が動きはじめ、開花は8月ないし9月	7.5 m (つる状に育つ)	-				
	コリウス <i>Solenostemon scutellarioides</i>	ブラックドラゴン		3,500粒/ グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-24℃	4-5	4-5	カットバック、 9-10.5cmポット	22-24℃	17-18℃	5-6	-	-		30-35 cm	25-30 cm	✓			
	コリウス <i>Solenostemon scutellarioides</i>	コング™、シリーズ コングJr.™ シリーズ		25,650粒/ グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	21-24℃	4-5	4-5	13から15cm前後のコンテナ、ポット	18-24℃	14-18℃	-	4-5	5-6	ピンチはしない。ピンチをすると葉が小さくなり、出荷までの期間も長引く。コング・サーモンピンクは、低日照の条件下では銅葉のような色調となることがあるが、シーズン後半や夏場は問題なくサーモンピンクの葉色を展開	45-50 cm	38-45 cm	✓			日陰の条件が最適で、葉が最も大きく育つ。寄せ植えなどでプランターに定植する場合は、コンテナの端に植えつける方がよい
✓	コリウス <i>Solenostemon scutellarioides</i>	プレミアムサンコレクション		970粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	22-24℃	4-5	5-6	10.5-13cmポット 3本定植: 15-18cmポット チョコレートカバー・チェリーでは9cmポットも可能	18-24℃	14-18℃	6-8 (チョコレートカバーチェリーのみ)	6-8	6-8		50-80 cm (品種によって丈に差がある)	30-35 cm (品種によって株幅に差がある)	✓			乾燥の厳しくない条件では、戸外で用いても葉焼けしにくい。乾燥した条件下で戸外に用いる場合は注意が必要。基本的には、部分的に日陰になる条件が望ましい

グロワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	コリウス <i>Solenostemon scutellarioides</i>	ウィザード™ シリーズ		3,500粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する(軽)	22-24℃	4-5	5-6	カットバック、9-10.5cmポット、または12.5-13cmポット	18-24℃	14-18℃	7-9	7-9	-		30-35 cm	25-30 cm	✓		
✓	カラーグラス/ アネマンセラ <i>A. lessoniana</i>	シロッコ		172粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	18-24℃	5-6	5-6	9-10.5cmポット 15-16cmポット 15-18cmポット等	17-23℃	15-18℃	6-8	6-8	6-8 (3本植) 8-10 (1本植)	温度が低く光が強い条件で発色がより鮮明になる。温度が条件の範囲ないであれば、ハウスの外で生産する方がよい	30-35 cm	55-60 cm			USDAの耐寒指標ゾーン7-10(最低温度-18℃)
✓	カラーグラス/ カレックス <i>C. buchananii</i>	レッドルースター		126粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	24-26℃	7-10	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	8-9	8-9	9-10	発芽時は、光があった方がよい(オープンナル)	50-75 cm	30 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン6-9(最低温度-23℃)
✓	カラーグラス/ カレックス <i>C. comans</i>	アマゾンミスト		183粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-26℃	7-10	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	9-10	9-10	10-11	発芽時は、光があった方がよい(オープンナル)	15-30 cm	35 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン6-10(最低温度-18℃)
✓	カラーグラス/ カレックス <i>C. comans</i>	ブロンコ		136粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	24-26℃	7-10	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	8-9	8-9	9-10	発芽時は、光があった方がよい(オープンナル)	15-30 cm	35 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン6-10(最低温度-23℃)
✓	カラーグラス/ カレックス <i>C. comans</i>	フェニックスグリーン		77粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	24-26℃	7-10	5-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は、光があった方がよい(オープンナル)	50-60 cm	40-50 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン6-10(最低温度-23℃)
✓	カラーグラス/ コリネフォラス <i>C. canescens</i>	スパイクブルー		350粒(MSP)/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-26℃	3-6	6-7	カットバック、9-10.5cmポット、または15-16cm、15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は、光があった方がよい(オープンナル)	15-30 cm	20 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン5-9(最低温度-29℃)
✓	カラーグラス/ エラグロステイス <i>E. elliotii</i>	ウィンドダンサー		200(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	21-24℃	2-3	3-4	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	5-6	6-7	7-8	温度や天候等の条件に問題がなければ、露地(施設外)栽培も可能。施設内で栽培する場合は、乾燥させて軽めの施肥で管理	90-120 cm	90-120 cm	✓		乾燥条件、そして軽めの施肥を好む。水分や肥料が過剰だと株が直立的にしっかりと育たないので注意する。USDA耐寒性指標はZone.6(-23℃)
✓	カラーグラス/ フェスツカ <i>F. cinerea (F. glauca)</i>	フェスティナ			MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-22℃	3-6	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は、光があったほうがよい(オープンナル)	30-45cm	25-38cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン4-10(最低温度-23℃)
✓	カラーグラス/ イソレピス <i>I. cernua</i>	ライブワイアー		473(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	18-20℃	6	5	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	播種後は18℃で覆土をしない方が、早く、均一に発芽する。湿潤な培地環境を好む	15-20 cm	45-50 cm			葉色の変色(黄化)を招くので株は長く乾燥させない
✓	カラーグラス/ ジュンカス <i>J. effusus spiralis</i>	ツイスター		625(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	21-25℃	10-13	7-8	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	15-18℃	6-7	7-8	8-9		30-35 cm	30-35 cm	✓		ミックスコンテナに向いた品種。USDAの耐寒指標ゾーン5-9(最低温度-29℃)
✓	カラーグラス/ ジュンカス <i>J. effusus spiralis</i>	スターヘッド		1,140(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-22℃	7-10	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	7-8	7-8	8-9	発芽時は、光があったほうがよい(オープンナル)	20-25 cm	20-25 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン4-10(最低温度-30℃)
✓	カラーグラス/ ジュンカス <i>J. inflexus</i>	ブルーアローズ		1,050(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	7-8	6-7	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は、光があったほうがよい(オープンナル)	90 cm	30 cm	✓		コンテナでも花壇でもよく映える品種。湿地や沼沢地、浅瀬などにも定植可能。USDAの耐寒指標ゾーン5-9(最低温度-20℃)

\* プラゲトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm, 512穴 - 1.25cm



グロワー・ファクトリー	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	ジュンカス <i>J. pallidus</i>	ジャベリン	☀	996(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	5-6	5-6	9-10.5cm、15-16cm または 15-18cmポット	17-22℃	15-18℃	5-6	5-6	6-7	葉が途中で折れないように、ボンザイ30ppmを散布する。発芽時は、光があったほうが良い(オプション)	120 cm	45-50 cm	✓		USDAの耐寒指標ゾーン 8-10(最低温度-18℃)
✓	ジュンカス <i>J. tenuis</i>	ブルーダート	☀☀	702(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	7-8	6-7	9-10.5cm、15-16cm または 15-18cmポット	17-22℃	15-18℃	7-8	7-8	8-9	ドラセナなどの観葉の代用に最適。発芽時は、光があったほうが良い(オプション)	35-40 cm	25-30 cm	✓		コンテナでも花壇でもよくできる品種。湿地や沼沢地、浅瀬などにも定植可能。USDAの耐寒指標ゾーン4-10(最低温度-30℃)
✓	コーレリア <i>K. glauca</i>	クーリオ	☀☀	282(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	18-23℃	4-5	6-7	9-10.5cm、15-16cm または 15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は光必要	シーズン初め: 15-20 cm シーズン後半: 50 cm	20 cm			USDAの耐寒指標ゾーン 6-8(最低温度-23℃)
✓	ルズラ <i>L. nivea</i>	ルシウス	☀☀	153(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	10-12	4-7	9-10.5cmポット、または 15-16cm、 15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	8-9	8-9	9-10	発芽時には光が必要。苗が過湿にならないよう管理する	15-30 cm	45 cm		✓	USDAの耐寒指標ゾーン 4-9(最低温度-34℃)
✓	ルズラ <i>L. sylvatica</i>	スターメーカー	☀		MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	10-12	4-7	9-10.5cmポット、または 15-16cm、 15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	9-10	9-10	10-11	発芽時には光が必要。苗が過湿にならないよう管理する	30-45 cm	25 cm		✓	USDAの耐寒指標ゾーン 4-9(最低温度-34℃)
✓	スティバ <i>S. tenuissima</i>	ポニーテール	☀	142(MSP)粒/グラム	MSP	288穴トレイ	不要	18-24℃	4-5	4-5	9-10.5cmポット、または 15-16cm、 15-18cmポット	17-23℃	15-18℃	6-7	6-7	6-7 (3本植え)、 8-9 (1本植え)	発芽時は、光があったほうが良い(オプション)	40-60 cm	60 cm			USDAの耐寒指標ゾーン 7-10(最低温度-18℃)
	コスモス <i>C. bipinnatus</i>	アンティキティ	☀	200-250粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	厚く する	16-18℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm、 または13cmポット	18-24℃	16-18℃	-	6-7	6-7		50-75 cm	30-35 cm			コスモスは短日に入ると開花が早まる。プラグ段階で花芽をさせないように、また若苗での開花を防ぐために、プラグ生産の段階で電照し、明期延長を行う
	コスモス <i>C. bipinnatus</i>	ソナタ・シリーズ	☀	180粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	19-21℃	3-4	4-5	10cm前後のポット 3本定植: 15-18cmポット	21-26℃	21-24℃	-	6-7	7-8	初期の徒長を防ぐには、プラグ生産のステージ1において、ボンザイ15ppmの散布で効果が見られる	60 cm	30-35 cm			コスモスは短日に入ると開花が早まる。プラグ段階で花芽をさせないように、また若苗での開花を防ぐために、プラグ生産の段階で電照し、明期延長を行う
	クラスベディア <i>C. globosa</i>	ビリーボタンズ		1,800粒/グラム		288穴、またはそれ以上の容量	軽く する	18-20℃	10-14	6-7	ポット、または 露地定植向き			-	-	17-18	作りやすい一年生のクラスベディア	40-50 cm	25-30 cm	✓		支柱ないしネットがけが必要
✓	クロサンドラ <i>C. infundibuliformis</i>	トロピック・シリーズ	☀	218粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	25-28℃	7-10	6-7	10cm前後のポット 3本定植: 15cmポット	24-26℃	20-24℃	-	10-11 (暖地/南部)	10-11 (暖地/南部)	熱帯、亜熱帯のような環境を好む植物	25 cm	20 cm	✓		(例えば北部の)冷涼な地域においては、春から夏の生産・出荷で、約3週余計にかかる
	クヘア <i>C. ignea</i> (Cigar Plant)	ダイナマイト	☀	750粒/グラム	SED	288穴前後、またはそれ以上の容量	軽く する	21-24℃	4-6	5-6	カットバック、 9-10.5cmポット	21-24℃	18-20℃	-	6-7	-	ピンチは不要	20-25 cm	25-30 cm	✓		
	ダリア <i>D. x hybrida</i>	フィガロ・シリーズ	☀☀	100粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	19-21℃	3-7	4-5	カットバック、 9-10.5cmポット	11-16℃	11-16℃	5-6	5-6	-	発芽チャンバーを使用の際は、種子が芽切りをした時点でハウスへ移す	35-45 cm	25-30 cm			Bナインへの反応がよい
	デカンブシア <i>D. elongata</i>	ゼファー	☀☀	172粒(MSP)/グラム	MSP	406穴、またはそれ以上の容量	不要	18-22℃	4-5	4-5	カットバック、 9-10.5cmポット、または 15-16cm、 15-18cmポット	19-23℃	18-19℃	5-7	6-7	6-7		15-20 cm	25-30 cm			湿った培地条件(あるいは土地)を好む。乾燥させないように注意する。USDA耐寒性指標は Zone 7(-18℃)

グロワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1アマゾン・シリーズ	☀	430-490粒/グラム	PEL	406穴トレイ	する	18-20℃	3-5	4-5	切花品種だが、ポットに仕立てる場合は、20cm前後のコンテナ、ポットへ3本定植	16-22℃	10-16℃	-	-	11-22	矮化剤の反応がよい。ポット用に仕立てる場合は矮化剤が必要。栽培の詳細は62ページからの切花の項目も参照	45-90 cm	25-30 cm		✓	北欧のような弱い日照条件でも生産が可能な品種。日長時間が延びるに連れて生長が進み、初夏に開花する
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus</i>	F1スイート・シリーズ	☀	260-340粒/グラム(PEL)	PEL	406穴トレイ	する	18-20℃	3-5	4-5	切花品種	15-22℃	10-16℃			移植から初回開花: 11(春期)、12-16(秋/冬期)	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目も参照	45-90 cm	25-30 cm		✓	
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus</i>	F1ダッシュ・シリーズ	☀	230-385粒/グラム(PEL)	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃ (光はオプション)	3-5	4-5	10cmから12cm前後のポット3本定植: 15-18cmポット	最初の2週は18-24℃で施設管理する。株ができてからは出荷まで15-21℃に抑える	最初の2週は15℃で施設管理する。株ができてからは出荷まで11、12℃の低温で管理する			移植から開花/出荷まで: 9-10(春/夏期) 11-12(秋/冬期)	ダッシュは自然な分枝をもっているコンパクトな品種。ポット生産に最も向いているダイアンサスのシリーズです	38-50 cm	30-35 cm		✓	この品種には薬害の可能性があるので、アゾキシストロビン(Azoxystrobin)を有効成分とする殺菌剤は使用しない
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1ブーケ・シリーズ	☀	314-436粒/グラム(PEL)	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃ (光は必要)	3-5	4-5	15cm前後のポット3本定植: 15-18cmポット	16-22℃	10-16℃			移植後8-9週	矮化剤への反応がよい品種。ポット生産の詳細はグロワーファクトを参照する。栽培の詳細は64ページの切花の項目を参照	45-60 cm	25-30 cm			
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1ダイナスティ・シリーズ	☀☀	250-300粒/グラム(PEL)	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃ (光は必要)	3-5	4-5	10-15cmポット	16-22℃	10-16℃			移植後8-9週		40-50 cm	25 cm			
✓	ダイアンサス <i>D. chinensis x barbatus</i>	F1フローラル・レース・シリーズ	☀	1,100粒/グラム	SED/PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	3-5	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	16-22℃	10-16℃	4-5	-	-		20-25 cm	20 cm		✓	
✓	ダイアンサス <i>D. chinensis x barbatus</i>	F1 アイディール・シリーズ	☀	1,100粒/グラム	SED/PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	3-5	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	16-22℃	10-16℃	4-5	-	-		20-25 cm	20 cm		✓	
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	ジョルト・シリーズ	☀	430-490粒/グラム(PEL)	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	3-5	4-5	10cmから12cm前後のポット3本定植: 15-18cmポット	最初の2週は18-24℃、その後は15-21℃で管理する	最初の2週は15℃、その後は11-12℃で管理する	-	-	12-14週: 春(初夏)から秋 14-18週: 春先	ジョルトの開花に関しては、温度と光条件が最大の要因であり、とくに冬から春先にかけてはそれが顕著である	40-50 cm	30-35 cm		✓	✓
✓	ダイアシア <i>D. barberae</i>	F1 デイアマンテ・シリーズ	☀☀	4,590-5,880粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	18-21℃	4-6	4	9-10.5cmポット3本定植: 15cmポット	16-19℃	10-16℃	6-8	7-9	8-10	低温条件でも植物の生長に問題はないが、出荷までの期間は長くなる。育苗段階で矮化剤を用いる場合は、幼根が現れてからにする。矮化剤は苗の生長を遅らせるか、停止させることがある。GrowerFactsを参照	25-30 cm	30-35 cm		✓	確実な歩留りが得られるよう、1セルあたり4粒播きを推奨
✓	ダイコンドラ <i>D. argentea</i>	シルバーフォー・ルズ	☀☀	210粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	4-5	5	9-10.5cmポット3本定植: 25cmバスケット等	18-24℃	17-18℃	-	6-7	7-8	温暖で乾燥している条件が最適。肥料は軽めにして、施肥の後は軽く洗い流す	5-7 cm	90-120 cm		✓	地面を這うような性質をもつ植物。水はけのよい土地を好む。グラウンドカバーに最適
✓	ダイコンドラ <i>D. repens</i>	エメラルドフォー・ルズ	☀☀	65(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	4-5	5-6	9-10.5cmポット3本定植: 25cmバスケット等	18-24℃	17-18℃	-	7-8	8-9	温暖で乾燥している条件が最適。肥料は軽めにして、施肥の後は軽く洗い流す	5-10 cm	90 cm		✓	地面を這うような性質をもつ植物。水はけのよい土地を好む。グラウンドカバーに最適
	ダスティミラー <i>Cineraria maritima/Senecio cineraria</i>	シルバーダスト	☀	3,175粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	4-5	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	16-18℃	13-14℃	7-8	8-9	-		25 cm	25 cm			



グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	エリシマム <i>E. species</i>	シトロナーナ™ シリーズ	☀	500粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	20-22°C	2-4	4	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	18-21°C	13-16°C	-	7-9	8-10	エリシマムは低温を好む植物	25-30 cm	25-30 cm		✓	チェイランサスやストックのような管理方法をとる
✓	ユーフォルビア <i>E. graminea</i>	グラマー	☀	650-725粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	18-22°C	3-6	3-4	カットバック、9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	18-25°C	18-20°C	3-5	4-6	5-7	16°C以上の温度で管理する(低温では葉の黄化する)	38-60 cm	38-50 cm	✓		造園や植栽にも使えるユーフォルビア。ダイナミックなコンテナガーデンや街路のプランターなどへの用途も
✓	ユーフォルビア <i>E. graminea</i>	グリッツ	☀	650-750粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する(オプション)	18-22°C	3-6	4-5	9-10.5cm、15-16cmまたは15-18cmポット	18-25°C	18-20°C	-	5-8	6-8	16°C以上の温度で管理する。丈の生長制御にはBナイン、2,500から5,000ppmの散布が有効	25-35 cm	30-45 cm	✓		
	ユーフォルビア <i>E. marginata</i>	キリマンジャロ	☀	50-60粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	(普通に)する	20-22°C	3-7	4-5	15-18cmポット、または露地定植	16-22°C	12-16°C			8-12	ステム長を90cmまで育てるには長日条件が必要。播種前に1週予冷することで発芽の質が向上する	90 cm (長日条件下)	20-25 cm	✓		アレルギーを引き起こす可能性があるため、花粉や樹液には触れないようにする
✓	フューザブルズ® パコバ <i>Sutera cordata</i>	ユートピア	☀	プレジジョン・マルチベレット	MSP	288穴または128穴のプラグトレイを用いる	不要	20-23°C	4	4-5	15-20cmポット 4本定植: 25-30cm バスケット、コンテナ等	15-24°C	13-16°C	-	-	288穴からは6,7週、105/128穴からは5,6週、72穴からは4,5週		15 cm	45-60 cm			バスケットやコンテナで、そのパフォーマンスを最大限に引き出すことができる
✓	フューザブルズ® コリウス <i>Solenostemon scutellarioides</i>	チョコレートシンフォニー アンダー・ザ・サン	☀☀	プレジジョン・マルチベレット	MSP	288穴または128穴のプラグトレイを用いる	軽くする	22-24°C	4-5	5-6	15-20cmポット 1-3本定植: 25cm コンテナ等 4-5本定植: 30cm コンテナ等	18-24°C	15-18°C	-	-	5-7		条件しだい で草丈は変化する	-	✓		
✓	フューザブルズ® ジュンカス <i>Juncus inflexus</i> (ブルーアローズ) <i>Juncus effusus spiralis</i> (カーリージュンカス)	ツイステッドアローズ	☀	800-900(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24°C	7-8	7-9	9-10.5cmポット 1-3本定植: 15cmポット 1-3本定植: 15-18cm コンテナ等	17-22°C	15-18°C	6-7	7-8	7-8		45-90 cm	30-45 cm	✓	✓	ミックスコンテナに最適。USDAの耐寒指標ゾーン5-9(最低温度29°C)
✓	フューザブルズ® ジュンカス <i>Juncus tenuis</i> (ブルーダート) <i>Juncus effusus spiralis</i> (カーリージュンカス)	ツイステッドダート	☀☀	400-500(MSP)粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24°C	7-8	7-9	9-10.5cmポット 1-3本定植: 15cmポット 1-3本定植: 15-18cm コンテナ等	17-22°C	15-18°C	6-7	7-8	7-8		35-40 cm	25-45 cm			USDAの耐寒指標ゾーン5-9(最低温度29°C)
✓	フューザブルズ® マルチスピーシーズ (マルチベレット) <i>Petunia x hybrida</i> <i>Sutera cordata</i> (パコバ)	-ブルードーン -クラウド・イン・スカイ -シルクサテン -ヒーリング ウォーター	☀	プレジジョン・マルチベレット	MSP	288穴または128穴のプラグトレイを用いる	不要	22-24°C	4	4-5	15-20cmポット 1-3本定植: 25cm コンテナ等 4-5本定植: 30cm コンテナ等	16-24°C	14-18°C	-	-	288穴からは6,7週、105/128穴からは5,6週、72穴からは4,5週	Bナイン系の矮化剤は、パコバが過剰に反応するので使用しない	条件しだい で草丈は変化する	条件しだい で草丈は変化する			
	フューザブルズ® マルチスピーシーズ (マルチベレット) <i>Viola x wittrockiana</i> and <i>Lobularia maritima</i>	ワインクーラー	☀	プレジジョン・マルチベレット	MSP	288穴または128穴のプラグトレイを用いる	不要	18-21°C	2-4	3-4	15-20cmポット 4本定植: 25-30cm コンテナ等	16-20°C	10-16°C	-	-	288穴からは5から7週、128穴からは4から6週		15-25 cm	15-35 cm			

グローワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス		
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど								
✓	フューザブルズ® ペチュニア <i>P. x hybrida</i>	-ブルーベリーライム ジャム -バーガンディスター ライト -ライムコーラル -ウ・ララ, -プレザントリー ブルー -ストロベリーワイン	☀	プレジジョン・ マルチベレット	MSP	288穴または 128穴のプラ グトレイを用 いる	不要	22-24°C	4	5-6	15-20cm ポット 1-3本定植: 25cm コンテナ等 4-5本定植: 30cm コンテナ等	16-24°C	14-18°C	-	-	288穴か らは6,7 週、105/128 穴からは5,6 週、72穴から は4,5週	矮化剤処理の手順 は通常のペチュニ ア、あるいはスプレ ディングペチュニア と同じ。プレザントリ イブルーは、Bナイン よりもボンザイのか ん注に、より高い効 果が見られた。これ らのフューザブルズ の品種にはBナイン の使用が望ましい	条件しだい で草丈は変 化する	条件しだい で草丈は変 化する					
✓	ガザニア <i>G. rigens</i>	ニューデイ・ シリーズ	☀	1,000粒/ グラム	COT	406穴、また はそれ以上 の容量	する	21-22°C	3-4	4-5	9-10.5cm ポット 3本定植: 15cmポット	18-21°C	13-16°C	8-9	8-9	8-9		20-25 cm	15-20 cm					
	ガザニア <i>Tetraploid G. rigens</i>	サンシャイン ミックス	☀	500粒/グラム	SED	ポケットシー ド用アイテム	する	21°C	2-3	4-5	ポケットシー ド用アイテム	18-20°C	13-16°C	-	-	-		30 cm	15-20 cm	✓				
	ゼラニウム(アイビー) <i>Pelargonium x peltatum</i>	F1 サマーシャ ワーズ・シリーズ	☀	130粒/グラム	SED	288穴、また はそれ以上 の容量	する	21-24°C	3-5	4-5	10.5-12cm ポット、または 25cmバス ケット	16-18°C	16-18°C	-	11-12	13-14		30-38 cm	30-38 cm				ベンチでは枝どうしが 絡まらず、スペースの密 植による効率的な生産 が可能	
✓	F1 ガーベラ <i>Gerbera jamesonii</i>	レボリューション・ シリーズ	☀	300-400粒/ グラム	PEL	128から144 穴トレイ	軽く する	21-21°C	4-7	6-7	マイクロ: 7-9cmポット ミニ: 9-10.5cm スタンダード: 10.5-13cm メガ: 15cm以上	19-20°C	17-19°C	8-10	8-10	8-10	移植時に深植えを しないように注意す る。深植えすると、 根に病気が発生す ることがある。概ね 移植後5,6週を目 安に、個体間で葉が 触れるようになりは じめたら、スペース をとる	20-25 cm (マイクロ/ ミニ) 30-40 cm (スタン ダード) 30-45 cm (メガ)					生育速度は播種時期や 作型、光条件、ポットサイ ズなどによって異なる。 生産の目安としては、播 種から50%開花まで概 ね14, 15週、また100% 開花まではさらに2週前 後要する	
	※この品種はKieft Seed ブランドとして供給さ れます																							
✓	ゴンブレナ (センニチコウ) <i>G. sp.</i>	ファイアワークス	☀	500粒/グラム	COT	406穴、また はそれ以上 の容量	する	20-24°C	2-3	5-6	12-13cm ポット 2-3本定植: 15-18cm	18-24°C	18-25°C	-	-	8-9	育苗および栽培の 詳細は64ページの 切花の項目も参照	120 cm	120 cm	✓				
✓	ヘレニウム <i>H. amarum</i>	ダコタゴールド	☀	200(MSP)粒/ グラム	MSP	288穴、また はそれ以上 の容量	する	18-22°C	3-5	3-4	カットバック、 9-10.5cm ポット、または 15cmポット	18-21°C	18-19°C	-	5-7	6-8	日長時間は、株の 生育具合や生産期 間に影響を及ぼす。 詳細はGrowerFacts を参照	30-35 cm	60-70 cm	✓			日長時間が12時間以下 では株の生長が鈍くな り、10時間を下回ると草 姿がフラットになり、場 合によってはロゼットに 入ることがある。12時間 以上の長日条件で育て ることを推奨	
✓	ヘリアンサス (サンフラワー) <i>H. annuus</i> (Sunflower)	F1 バラード	☀	95粒/グラム	SED	200穴トレ イ、または直 播き	する	20-22°C	3-5	2-3	10.5-13cm ポット 1-3本定植: 15-18cm	18-22°C	16-18°C	-	8-9	7-8 (夏期/ 秋期 の生産)	短日条件では丈が 低く育ち、長日では 矮化剤を使用しな いと徒長する。周年 開花する	60-75 cm	15-20 cm	✓			矮化剤で処理すると、約 1週開花が遅れる	
✓	ヘリアンサス (サンフラワー) <i>H. annuus</i> (Sunflower)	ジュア・シリーズ	☀	17-20粒/ グラム	SED	200穴トレ イ、または直 播き	する	20-24°C	プラグ 育苗:2-3 直播き: 3-5	2-2.5	切花品種	18-29°C	10-18°C	-	-	8.5-10.5 (播種からの 週数)	育苗および栽培の 詳細は64ページの 切花の項目を参照	90-150 cm - (栽培管理 によって異 なる)	-					
✓	ヘリアンサス (サンフラワー) <i>H. annuus</i> (Sunflower)	F1 ミスサンシャ イン	☀	95粒/グラム	SED	200穴トレ イ、または直 播き	する	20-22°C	3-5	2-3	10.5-13cm ポット 1-3本定植: 15-18cm	18-22°C	16-18°C	-	7-8	6-7 (夏期/ 秋期 の生産)		25-40 cm	15-20 cm	✓			矮化剤で処理すると、約 1週開花が遅れる	
	ヘリアンサス (サンフラワー) <i>H. annuus</i> (Sunflower)	ブラド・シリーズ	☀	40粒/グラム	SED	200穴トレ イ、または直 播き	する	20-24°C	3-5	2-3	切花品種	18-29°C	10-18°C	-	-	10-12 (播種からの 週数)	育苗および栽培の 詳細は64ページの 切花の項目を参照	120-170cm	-					
✓	ヘリクリサム <i>H. microphyllum</i> ( <i>Plectostachys serphyllifolia</i> )	シルバームイスト	☀	800(MSP)粒/ グラム	MSP	406穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24°C	6-8	6-7	9-10.5cm ポット 3本定植: 15cmポット	18-24	17-18°C	-	8-9	9-10	過剰なかん水や午 後遅くの水やりは 避けるようにする。 葉が常時湿ってい ると灰カビが発生し やすくなる。ピンチ は不要	15-20 cm	45-60 cm	✓				

グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等							
✓	ハイビスカス <i>H. acetosella</i>	マホガニー スプレンドー	☀️	83粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	する	21-24℃	2-3	2-3	10.5-12cm ポット、 15-18cmまたは 20cmコンテナなど	18-21℃	17-19℃	-	5-6	6-8	発芽時は、光があつたほうが良い(オープンヨナル)	90-150 cm	60-75 cm	✓	
	ヒポエステス <i>H. phyllostachya</i>	スプラッシュセレクト・シリーズ	☀️	880粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	21-24℃	2-3	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット 3本定植: 15cmポット	18-24℃	17-18℃	6-7	7-8	8-9	日照が強すぎると葉が巻いてしまうので注意する。4,000-5,000ルクス(400-500f.c.)の低い光条件下で管理する	25-45 cm	30-35 cm		サイコセルで散布処理すると葉色のコントラストが強くなる。多粒播きや、ポットあたり15粒を上限に、直播きにすることで生産期間が短縮される
✓	F1 インパチェンス (シングル) <i>I. walleriana</i>	ダズラー™・ シリーズ	☀️	1,250-2,150 粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	4-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット 5本定植: 25cm バスケット等	18-24℃	17-18℃	3-4	4-5	6-7	覆土はしない。インパチェンスは発芽時に最低でも100ルクス(10f.c)の光が必要	23-28 cm	33-38 cm		
✓	F1 インパチェンス (シングル) <i>I. walleriana</i>	インプレザ・ シリーズ	☀️	1,250-2,150 粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット 5本定植: 25cm バスケット等	18-24℃	17-18℃	3-4	5-6	6-7	覆土はしない。インパチェンスは発芽時に最低でも100ルクス(10f.c)の光が必要	15-20 cm	30-35 cm		
✓	F1 インパチェンス (シングル) <i>I. walleriana</i>	スーパーエルフイン™・ シリーズ (XP/スタンダード)	☀️	1,250-2,150 粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	4-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット 5本定植: 25cm バスケット等	18-24℃	17-18℃	3-4	4-5	6-7	覆土はしない。インパチェンスは発芽時に最低でも100ルクス(10f.c)の光が必要	20-25 cm	30-35 cm		
✓	インパチェンス, (ニューギニアインパ チェンス) <i>I. hawkerii</i>	F1ディバイン・ シリーズ	☀️	558粒/グラム	SED	128穴から 288穴トレイ	不要	23-25℃	5-8	5-6	9-10.5cm ポット	20-24℃	18-20℃	6-7	7-8	8-9	生産管理の詳細については、GrowerFactsを参照。施肥は適度とする。多肥にすると、葉が大きくなり過ぎたり、組織に斑が現れることもあるので注意する	25-35 cm	30-35 cm		
✓	インカルピリア <i>I. sinensis</i>	シェロン・ シリーズ	☀️	1,350-1,850 粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量(セルあたり2、3粒播種)	軽く する	18-20℃	4-6	3-4	10.5-13 cm ポット	19-21℃	17-18℃	-	7-8	8-9	最終的な丈については矮化剤の影響はあまり受けない。ただし、開花が遅れる大きな原因となるので、終盤ステージでのBナインの使用は避ける	25-50 cm	15-20 cm	✓	ホワイトと比較して、ピンクは概ね7から10日ほど晩生
✓	イレスネ <i>I. herbstii</i>	パーブルレディ	☀️	1,580粒/ グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	3-4	4-5	9-10.5cm ポット または 25cm バスケット等	18-24℃	17-18℃	-	5-6	6-7	葉が赤くなったら、肥料不足の疑いがあるので注意。日照が強くと乾燥した条件下で葉にしわが入りやすく、長時間の直射日光は避ける	15-20 cm	90-120 cm	✓	日陰、あるいは半日陰になるような管理条件が望ましい。湿度のある条件下では日照に晒しても比較的強い
✓	イソトマ <i>I. hybrida</i> (laurentia)	ジェミニ・ シリーズ	☀️	10,000-12,000 粒/グラム、	PEL	288穴、またはそれ以上の容量(セルあたり2から4粒播種)	不要	20-22℃	5-8	4-5	10-13 cm 3本定植: 15-18cm ポット	16-18℃	12-14℃	9-10	9-12	14-16	涼しい温度を好む。22℃を超えると生育が遅れや開花に影響が出やすくなる	8 in. (20 cm)	10-14 in. (25-35 cm)		✓
	イソトマ <i>I. hybrida</i> (laurentia)	トリスター・ シリーズ	☀️	9,000-11,000 粒/グラム、	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	20-22℃	4-7	4-5	10.5-13 cm	16-18℃	14-16℃		9-10			20-25 cm	25-30 cm		
	ラパテラ <i>I. trimestris</i>	ツインズ・ シリーズ	☀️	125-150粒/ グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-22℃	3-7	3-5	大鉢、コンテナ または露地定 植向き	18-20℃	16-18℃			8-10	コンパクトに抑えるには、サイコセル系の矮化剤によく反応する。	30-50 cm	30-50 cm		
✓	レイセステリア <i>L. formosa</i>	ジェラシー	☀️		MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する (軽く)	18-21℃	9-12	7-8	9-10.5cm、 15-16cm または 15-18cm ポット	20-24℃	18-19℃	6-7	6-7	7-8	発芽時は光必要	90-150 cm	45-50 cm	✓	ハダニがつきやすいので注意する



グロワー ワー・ファ クツ	植物名	シリーズ/品種名	日照・ 配置	種子粒数/グラム	種子の 形態	推奨されるトレ イのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗 苗週数	奨励され録・コン テナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバース
												生育適温 (昼間)	生育適温 (夜間)	9cmポッ ト、カット バック等	10-10.5cm ポット	その他のコン テナなど						
✓	リナリア <i>L. hybrida</i>	F1エンチャント メント	☀	660粒/グラム	MSP	406穴、また はそれ以上 の容量	する	18-20℃	2-3	4-5	9-10.5cm ポット	16-21℃	11-15℃	-	6-7	-	苗茎の徒長を防ぐ ためステージ1で矮 化剤の散布が大切	35-40 cm	30-35 cm		✓	
✓	リシアンサス (切花品種) <i>Eustoma grandiflorum</i>	F1 ABC・シリーズ F1ラグナ・シリーズ F1フレア・シリーズ	☀	1,000粒/ グラム	PEL	406穴トレイ	不要	20-22℃	8-12	8-10	切花品種	20-24℃	16-18℃	-	-	10-18	育苗および栽培の 詳細は64ページの 切花の項目を参照	75-115 cm	-		✓	発芽したあとに、パーミ キュライトを普通の厚さ で覆土する
✓	リシアンサス (F1 ポット用品種) <i>Eustoma grandiflorum</i>	F1 フロリダ・ シリーズ	☀	1,000粒/ グラム	PEL	406穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-26℃	8-12	8-10	10.5cm、また は15cmポット	20-24℃	16-18℃	-	14-16	14-16	培地(用土)のpHは 6.5以上で維持す る。プラグ苗は根詰 まりをさせない。リ シアンサスはデリケ ートな育苗を必要と するので、購買苗に よる生産を奨励	20-25 cm	15-20 cm		✓	30℃を超える温度条件 でもロゼットに入りにく いシリーズ
✓	リシアンサス (F1 ポット/花壇用 品種) <i>Eustoma grandiflorum</i>	F1 フォーエバー・ シリーズ	☀	1,000粒/ グラム	PEL	406穴、また はそれ以上 の容量	不要	20-22℃	8-12	8-10	9-10.5cm ポット	20-24℃	16-18℃	-	13-14	-	培地(用土)のpHは 6.5以上で維持す る。プラグ苗は根詰 まりをさせない。リ シアンサスはデリケ ートな育苗を必要と するので、購買苗に よる生産を奨励	20-25 cm	15-20 cm		✓	
✓	リシアンサス (F1 ポット/花壇用 品種) <i>Eustoma grandiflorum</i>	F1 サファイア・ シリーズ	☀	1,000粒/ グラム	PEL	406穴、また はそれ以上 の容量	不要	20-22℃	8-12	8-10	9-10.5cm ポット	20-24℃	13-16℃	-	12-14	-	培地(用土)のpHは 6.5以上で維持す る。プラグ苗は根詰 まりをさせない。リ シアンサスはデリケ ートな育苗を必要と するので、購買苗に よる生産を奨励	10-15 cm	10-15 cm		✓	インドアプラントとして 最適なアイテム
	ロベリア (コンパクトタイプ) <i>L. erinus</i>	-ケンブリッジブルー -コバルトブルー -クリスタルパレス -ミセス・クリプラン -ローザモンド -ストリング・オブ・ パールズ -ホワイトレディ	☀	29,000-45,000 粒/グラム	SED/ MSP	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	21-24℃	4-6	4-5	9-10.5cm ポット	19-22℃	13-16℃	8-9	-	-	日長が12時間に満 たない条件では、電 照補光が開花速度 に有効にはたらく。 春から夏にかけて の高温、長日条件時 は株質の維持とスト レスを避けるため に適宜、遮光する	13 cm	15-20 cm		✓	
✓	ロベリア (コンパクトタイプ) <i>L. erinus</i>	リビエラ・ シリーズ	☀	29,000-45,000 粒/グラム	SED/ MSP	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	21-24℃	4-6	4-5	9-10.5cm ポット	19-22℃	13-16℃	5-6	-	-	日長が12時間に満 たない条件では、電 照補光が開花速度 に有効にはたらく。 春から夏にかけて の高温、長日条件時 は株質の維持とスト レスを避けるため に適宜、遮光する	13 cm	20 cm		✓	
	ロベリア (トレリングタイプ) <i>L. erinus</i>	フォンテーン・ シリーズ	☀	29,000-45,000 粒/グラム	SED/ MSP	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	21-24℃	4-6	4-5	25cmバスケット 等	19-22℃	13-16℃	-	-	10-12	日長が12時間に満 たない条件では、電 照補光が開花速度 に有効にはたらく。 春から夏にかけて の高温、長日条件時 は株質の維持とスト レスを避けるため に適宜、遮光する	15-20 cm	25-30 cm		✓	
✓	ロベリア (トレリングタイプ) <i>L. erinus</i>	レガッタ・ シリーズ	☀	29,000-45,000 粒/グラム	SED/ MSP	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	21-24℃	4-6	4-5	25cmバスケット 等	19-22℃	13-16℃	-	-	8-10	日長が12時間に満 たない条件では、電 照補光が開花速度 に有効にはたらく。 春から夏にかけて の高温、長日条件時 は株質の維持とスト レスを避けるため に適宜、遮光する	15-20 cm	25-30 cm		✓	

グローワー・ファクトリー	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)				栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット							その他のコンテナなど
	ロベリア (トレーリングタイプ) <i>L. erinus</i>	サファイアベン デュラ	☀	29,000-45,000 粒/グラム	SED/ MSP	288穴、またはそれ以上の容量	不要	21-24℃	4-6	4-5	25cmバスケット等	19-22℃	16-17℃	-	-	10-12	日長が12時間に満たない条件では、電照補光が開花速度に有効にはたらく。春から夏にかけての高温、長日条件時は株質の維持とストレスを避けるために適宜、遮光する	15-20 cm	25-30 cm		✓	
	マリーゴールド (アフリカン) <i>Tagetes erecta</i>	F1 ガーランド・ オレンジ	☀	250-270粒/ グラム	EZ- Flow Seed	128から394穴のトレイに対応	する	21-22℃	3-4		10.5cm前後のポット	18-20℃	16-17℃	-	7-8	-	高温は発芽の阻害要因となる。またリードタイムは短縮されるが、徒長の原因ともなる	短日期: 70-85 cm 長日期: 120-150cm				
	マリーゴールド (アフリカン) <i>Tagetes erecta</i>	F1 レディ・ シリーズ	☀	317-352粒/ グラム	DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	10.5cm前後のポット	18-20℃	16-17℃	-	8-9	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	50 cm	25 cm			
	マリーゴールド (アフリカン) <i>Tagetes erecta</i>	F1 マーベル・ シリーズ	☀	317-352粒/ グラム	DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	10.5cm前後のポット	18-20℃	16-17℃	-	7-8	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	45 cm	25 cm			
✓	マリーゴールド (アフリカン) <i>Tagetes erecta</i>	F1 バニラ	☀	317-352粒/ グラム	DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	10.5-12cmポット	18-20℃	16-17℃	-	7-8	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	40 cm	25 cm			
✓	マリーゴールド (矮性アフリカン) <i>Tagetes erecta</i>	F1 タイシャン (タイザン)™ シリーズ	☀	325-375粒/ グラム	DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-22℃	2-3	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	-	4-6 (春期) 7-8 (夏期)	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	20-25 cm		✓	
✓	マリーゴールド (矮性フレンチ) <i>Tagetes patula</i>	デュランゴ™ シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	4-5	5-6	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ クレストタイプ) <i>Tagetes patula</i>	ボナンザ・ シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	3-4	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ クレストタイプ) <i>Tagetes patula</i>	ボーイ・シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	SED/ DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	5-6	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	20-25 cm	15-20 cm)			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ クレストタイプ) <i>Tagetes patula</i>	ハニーコーム	☀	335-370粒/ グラム	SED/ DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	5-6	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ クレストタイプ) <i>Tagetes patula</i>	ジャケット・ シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	5-6	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ クレストタイプ) <i>Tagetes patula</i>	ジェニー・ シリーズ	☀	240-325粒/ グラム	DTL/ COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	3-4	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	20-25 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ シングル咲) <i>Tagetes patula</i>	レッドマリエッタ	☀	335-370粒/ グラム	SED/ DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	カットバック、 9-10.5cm ポット	18-20℃	16-17℃	4-5	-	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25 cm	15-20 cm			
	マリーゴールド (矮性フレンチ/ 完全ダブル咲) <i>Tagetes patula</i>	ゲート・シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	SED/ DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	10.5-12cmポット	18-20℃	16-17℃	-	4-5	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	25-30 cm	15-20 cm			
✓	フレンチマリー ゴールド <i>Tagetes patula</i>	ホットバック・ シリーズ	☀	335-370粒/ グラム	DTL	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	3-4	3	10.5-12cmポット	18-20℃	16-17℃	3-4	5-6	-	培地のpHは、鉄による生理障害を避けるため6.2から6.5とする	15-18 cm	15-20 cm		✓	夜温が高く湿度も下がらないような条件でも、株質をコンバクトに保ち、開花を休まない品種

グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	マトリカリア <i>Tanacetum parthenium</i>	ベグモ・シリーズ	☀	650粒/グラム	PEL	200穴トレイ	不要	21-22℃	4-6	4-5	切花品種	冬期: 13-14℃ 夏期: 22-24℃	冬期: 13-14℃ 夏期: 16-18℃	-	-	7-16	育苗および栽培の詳細は64ページの切花の項目を参照	70-90 cm	-	✓		プラグ育苗期間中は、14から16時間の長日条件とする
✓	ストック/マティオラ (花増用品種) <i>M. incana</i>	ホットケーキ・シリーズ	☀	600粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	17-20℃	3-5	4	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	16-21℃	10-13℃	-	4-7	5-8	播種時、相対湿度を90から100%に維持する。培地を過湿にしない。移植後は、相対湿度を50から60%で維持する	25-40 cm	15-20 cm	✓		八重鑑別については、GrowerFactsを参考にする
✓	ストック/マティオラ (花増用品種) <i>M. incana</i>	ピンテージ・シリーズ	☀	550-700粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	17-20℃	3-5	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	7-8	8-9	-	播種時、相対湿度を90から100%に維持する。培地を過湿にしない。移植後は、相対湿度を50から60%で維持する	38-50 cm	30-35 cm	✓		
	ストック/マティオラ (切花品種/ 露地栽培向き) <i>M. incana</i>	非分枝タイプ	☀	550-700粒/グラム	SED	露地栽培、直播き	する	18-21℃	14-21	計測中	切花品種	13-18℃	13-16℃	-	-	20-22 (播種からの週数)	育苗および栽培の詳細は64ページの切花の項目を参照	60-75 cm	-			
	ストック/マティオラ (切花品種/ 鑑別可能品種 施設栽培向き) <i>M. incana</i> ※この品種はKieft Seedブランドとして供給されません	-アイダ・シリーズ -カルメン・シリーズ -フィガロ・シリーズ -オペラ・シリーズ	☀	550-700粒/グラム	SED	200穴トレイ	する	15℃	5	5-6	切花品種	10-17℃	10-17℃	-	-	4-12	育苗および栽培の詳細は64ページの切花の項目を参照	80 cm	-			
✓	ストック/マティオラ (切花品種/ 鑑別可能品種 施設栽培向き) <i>M. incana</i>	カット・シリーズ	☀	540-640粒/グラム	SED	406穴トレイ	する	20-22℃	3-4	4	切花品種	15-24℃	7-13℃	-	-	8-13	育苗および栽培の詳細は64ページの切花の項目を参照	80 cm	-			よりよいパフォーマンスを得るには、簡易な施設やトンネルハウスでの生産が望ましい
✓	ミレット /オーナメンタル <i>Pennisetum glaucum</i>	F1ジェードプリンセス	☀☀	120-160粒/グラム	SED	128穴、またはそれ以上の容量	する	22-25℃	2-3	2-3	10.5cm以上のポット(9cmは不向) 1-2本定植: 15-18cmポット	20-30℃	16-19℃	-	4-5	5-6		60-75 cm	45-60 cm	✓		コンテナでも花壇でも利用しやすい品種
✓	ミレット /オーナメンタル <i>Pennisetum glaucum</i>	F1ジェスター	☀☀	120-160粒/グラム	SED	128穴、またはそれ以上の容量	する	22-25℃	2-3	2-3	10.5cm以上のポット(9cmは不向) または 15-18cmポット	20-30℃	18-19℃	-	4-5 (葉の段階で出荷)	5-6または11-13 (花穂付きで出荷)	根詰まりした株、また乾燥や肥料不足によってストレスを受けた株はうまく育たないので注意する	90-120 cm	25-35 cm	✓		コンテナでも花壇でも利用しやすい品種
✓	ミレット /オーナメンタル <i>Pennisetum glaucum</i>	F1パープルバロン	☀☀	120-160粒/グラム	SED	128穴、またはそれ以上の容量	する	22-25℃	2-3	2-3	10.5cm以上のポット(9cmは不向) または 15-18cmポット	20-30℃	18-19℃	-	4-5 (葉の段階で出荷)	5-6または11-13 (花穂付きで出荷)	根詰まりした株、また乾燥や肥料不足によってストレスを受けた株はうまく育たないので注意する	75-110 cm	25-35 cm	✓		コンテナでも花壇でも利用しやすい品種
✓	ミレット /オーナメンタル <i>Pennisetum glaucum</i>	F1パープルマジェスティ	☀☀	120-160粒/グラム	SED	128穴、またはそれ以上の容量	する	22-25℃	2-3	2-3	10.5cm以上のポット(9cmは不向) または 15-18cmポット	20-30℃	18-19℃	-	4-5 (葉の段階で出荷)	5-6または11-13 (花穂付きで出荷)	根詰まりした株、また乾燥や肥料不足によってストレスを受けた株はうまく育たないので注意する	120-150cm	20-30 cm	✓		コンテナでも花壇でも利用しやすい品種
✓	ミオソティス <i>M. sylvatica</i> ※この品種はKieft Seedブランドとして供給されません	モナミブルー	☀	1,700-2,100粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	不要	20-23℃	3-5	4	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	16-21℃	10-13℃	5-9	5-9	5-9	pHの上昇によりクロロシスが発生することがある。対処法についてはGrowerFactsを参照	25-30 cm	15-20 cm	✓		
✓	ネメシア <i>N. foetans</i>	F1 ポエトリー・シリーズ	☀	6,700-8,530粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	19-21℃	4-5	4	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	17-20℃	13-17℃	5-7	7-8	8-9	発芽時、暗い環境に置かれると、苗が細長く徒長する。矮化剤の使用は、幼根の発生を確認してから。早過ぎると、生育の遅れや発芽停止の原因となる	30-35 cm	25-30 cm	✓		

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm, 512穴 - 1.25cm



グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
	ネメシア <i>N. strumosa</i>	サンドロップスミックス	☀	6,000粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	不要	20-21℃	3-5	4	カットバック、9-15cmポット	16-18℃	13-16℃	8	8-10	-	低温管理を施す(13℃が最適温度)	25 cm	20-25 cm		✓	
	ニコチアナ <i>N. alata</i>	F1 ニッキー・シリーズ	☀	11,500粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	不要	21-24℃	3-5	4-5	9-10.5cmポット	18-21℃	16-18℃	-	4-5	-		40-45 cm	25-30 cm			
	ニーレンベルギア <i>N. coerulea</i>	ロープ・シリーズ	☀	6,800-7,500粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	不要	20-22℃	3-5	4	カットバック、9-10.5cmポット	16-20℃	15-16℃	3-4(花なし/グリーン)	8-10	-	Bナイン系の矮化剤への反応がよい	20 cm	20-25 cm		✓	
✓	オステオスペルマム <i>O. ecklonis</i>	アキラ・シリーズ	☀	70-100粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	18-20℃	5-6	4-5	9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	春期:10-12 秋期:7-9	春期:10-12 秋期:7-9	-		40-50 cm	40-50 cm			
✓	F1 パンジー(大輪品種) <i>Viola x wittrockiana</i>	マトリックス™・シリーズ	☀☀	650-850粒/グラム	SED/PRM	288穴トレイ	する	18-21℃	3-4	5	カットバック、9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	春期:6-8 秋期:4-6	春期:6-8 秋期:4-6	-	従来、秋出荷に受けたパンジーの生産では徒長抑制のため施肥について慎重な管理が求められたが、マトリックスの場合は株の状態を見つづ、適宜肥料を与える	20 cm	20-25 cm		✓	草姿の構造、また揃いに育種の主眼を置いたシリーズ。環境による影響を受けにくく、シリーズ全色の開花差は7日以内。基部分枝が発達し、ポットの土をしっかりと覆う。秋出荷、春出荷ともに可能なパンジー
	F1 パンジー(大輪品種) <i>Viola x wittrockiana</i>	プロミス・シリーズ	☀☀	650-850粒/グラム	SED/PRM	288穴トレイ	する	18-21℃	3-4	5	カットバック、9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	春期:6 秋期:4	春期:6-7 春期(越冬):16-20 秋期:4-6	-		20-30 cm	20-30 cm		✓	緯度の高いヨーロッパのマーケットで、春出荷を念頭に開発されたコンパクトなパンジー。ベンチで密植しても作りやすいシリーズ
✓	F1 パンジー(中輪/マルチカラー品種) <i>Viola x wittrockiana</i>	パノラ™・シリーズ(XP/スタンダード)	☀☀	650-1,100粒/グラム	SED/PRM	288穴トレイ	する	20-21℃	3-4	5	カットバック、9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	春期:4-5 秋期:3-4	春期:4-5 秋期:3-4	-		15-20 cm	20-25 cm		✓	冬場の株もちのよさ、また定植後のガーデンパフォーマンスに主眼を置いたシリーズ。造園需要から、通常の小売アイテムとして、また店舗に納品後の株のもちもよい
✓	F1 パンジー(ラッフルタイプ) <i>Viola x wittrockiana</i>	フィジー/フリズルシズル・シリーズ	☀☀	700-1,100粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	20-21℃	3-4	5	カットバック、9-10.5cmポット	16-21℃	10-13℃	フィジー8-9 フリズルシズル 春期:6-8 秋期:4-6	フィジー8-9 フリズルシズル 春期:6-8 秋期:4-6	-	この品種の特徴であるフリンジを際立たせるには、秋生産なら後半から終盤、あるいは冬、春先の生産がよい。高温はフリンジを減らし、発色も薄くなるので注意する	15-20 cm	20-25 cm		✓	
	F1 パンジー(中輪・ダブルカラー品種) <i>Viola x wittrockiana</i>	ハロウィン II	☀☀	650-1,100粒/グラム	SED/PRM	288穴トレイ	する	20℃	3-5	5	カットバック、9-10.5cmポット	16℃	10-13℃	秋期:2-3	秋期:3-4	-		15-20 cm	20-25 cm		✓	
✓	F1 パンジー(トレーリング品種) <i>Viola x hybrida</i>	クールウェーブ・シリーズ	☀	1,000-1,400粒/グラム	SED	128穴、または288穴トレイ	する	18-20℃	2-3	4-5	10.5cmポット3本定植:15-30cm/バスケット等	17-21℃	10-18℃	春期:6-7 秋期:4-5	春期:6-7 秋期:4-5	春期:8-10 秋期:6-8	288穴などの小さなセルでプラグ生産を行うと、出荷までのリードタイムが左記よりも10-14日長くなる	15-20 cm	60-75 cm		✓	ウドンコ病への保全管理、また予防対策を推奨しています
✓	F1 ペンタス <i>Pentas lanceolata</i>	F1 バタフライ・シリーズ	☀	1,125粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	24℃	6-9	8-10	9-10.5cmポット、または15-18cmポット	22-27℃	17-18℃	-	暖地/南部:8-10 冷涼地/北部:10-12	暖地/南部:8-10 冷涼地/北部:10-12	生産期間中はpH6.5から6.8を維持。pHが6.5を下回ると鉄による障害が発生するので注意する	30-55 cm	25-45 cm		✓	十分な日照と長日条件、そして適切な温度による夏場の生産では播種から12、13週で開花する
✓	ペッパー(オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	ブラックパール	☀	240粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	20-26℃	18-21℃	9-10(実なし) 16-20(実が熟すまで)	9-10(実なし) 16-20(実が熟すまで)	9-10(実なし) 16-20(実が熟すまで)	日照が強くと十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	35-45 cm	30-40 cm		✓	

グローワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス	
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等							
✓	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	F1 カリコ	☀	240粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	20-22℃	18-21℃	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	25-30 cm	35-40 cm	✓	
	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	カッパ・シリーズ	☀	240粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	20-22℃	18-21℃	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	80-100 cm	30-40 cm	✓	
✓	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	F1 チリーチリ	☀	285粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	18-24℃	16-18℃	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	23-25 cm	33-35 cm	✓	
	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	F1 マスカレード	☀	285粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-26℃	5-7	4-5	10cm前後のポット	20-22℃	18-21℃	-	12-14 (実が熟すまで)	-	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	25-30 cm	20-25 cm	✓	
✓	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	メドウサ	☀	285粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット)	18-24℃	16-18℃	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	-	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	15-20 cm	10-15 cm	✓	
✓	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	パープルフラッシュ	☀	240粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	20-22℃	18-21℃	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	9-10 (実なし) 16-20 (実が熟すまで)	日照が強く十分な温度条件でベストパフォーマンスが期待できる。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	33-38 cm	48-52 cm	✓	
	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	レッドミサイル	☀	285粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-26℃	5-7	4-5	10cm前後のポット	20-22℃	18-23℃	-	12-14 (実が熟すまで)	-	強い日照と左記の温度維持がベストパフォーマンスを得る条件。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	20-25 cm	15-20 cm	✓	
✓	ペッパー (オーナメンタル) <i>Capsicum annuum</i>	F1 サンテリア	☀	285粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	5-7	4-5	カットバック、9-10.5cmポット、または15-18cmポット	18-24℃	16-18℃	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	8-12 (実なし) 12-18 (実が熟すまで)	強い日照と左記の温度維持がベストパフォーマンスを得る条件。夏場の生産であれば、鉢上げ後4、5週で出荷が可能(実なしの状態)	25-30 cm	40-45 cm	✓	
✓	パチュニア (F1 スプレディング小輪品種) <i>P. x hybrida</i>	F1 ショックウェーブ™ シリーズ	☀	1,200粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	4	4-6	9-10.5cmポット 2-3定植: 15cmポット 3-4本定植: 25cm バスケット等	16-24℃	14-18℃	春期:5 夏期:4	春期:5 夏期:4	春期:6-7 夏期:4-5	ステージ1では光を与えることが適当。光条件や矮化剤の処理についてはGrowerFactsを参照。イージーウェーブやショックウェーブは、最低温度が約10℃でも育つ。到花日数は、日長時間が適切であれば置かれている環境の平均温度が(制限)要因となる。当然ながら、温度が低いと到花日数は長くなる	17-25 cm	75-90 cm		ショックウェーブは、他のウェーブ系パチュニアよりも日長時間に影響を受けにくいシリーズ。ショックウェーブの全品種は、10時間の日長で開花する。ただし10時間は開花の最低条件であり、12時間の日長条件よりも10から14日遅い

グロワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス		
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等								
✓	ペチュニア (F1 スプレディング 品種) <i>P. x hybrida</i>	F1 イージー ウェーブ™ シリーズ	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	4	4-6	9-10.5cm ポット 1-3定植: 15cmポット 3-4本定植: 25cmバスケ ット	16-24℃	14-18℃	春期:6 夏期:4	春期:6 夏期:4	春期:6-7 夏期:4-5	ステージ1では光 を与えることが適 当。光条件や矮化 剤の処理につい てはGrowerFactsを参 照。イージーウェー ブやショックウェー ブは、最低温度が約 10℃でも育つ。到花 日数は、日長時間が 適切であれば置か れている環境の平 均温度が(制限)要因 となる。当然ながら、 温度が低いと到花 日数は長くなる	15-30 cm	75-100 cm			イージーウェーブは、他 のウェーブ系ペチュニア よりも日長時間に影響を 受けにくいシリーズ
✓	ペチュニア (F1 スプレディング 品種) <i>P. x hybrida</i>	F1 タイダル ウェーブ™ シリーズ	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	4-7	5-6	20cm前後の ポット	16-24℃	14-18℃	-	-	春期: 11-13 夏期: 9-11	タイダルウェーブ は、ステージ1では 光が必要。光条件 や矮化剤の処理 手順については GrowerFactsを参照	40-55 cm	75-152 cm			13時間以上の長日、そし て18℃以上の夜温とい う条件の設定が生産期 間の長短の重要な要因 となる。短日条件の作型 では、明期延長や暗期 中断など電照による補 光をすることで、開花を 多少早めることが可能
✓	ペチュニア (F1 スプレディング 品種) <i>P. x hybrida</i>	ウェーブ™ シリーズ	☀	1,200粒/ グラム		288穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	4-7	5-6	9-10.5cm ポット、または 15cm、25cm ポット/コン テナ 等	16-24℃	14-18℃	7-9	春期:7-9 夏期:4-7	春期:8-10 夏期:5-7	ミスティライラック とローズは、ステー ジ1では光を与える ことが適当(オプシ ョン)。それ以外の ウェーブシリーズと タイダルウェーブ 全色は、発芽時に 必ず光が必要。光 条件や矮化剤の処 理手順については GrowerFactsを参照	13-18 cm (定植環境 によって多 少異なる)	90-120 cm (定植環境に よって多少 異なる)			13時間以上の長日、そし て18℃以上の夜温とい う条件の設定が生産期 間の長短の重要な要因 となる。短日条件の作型 では、明期延長や暗期 中断など電照による補 光をすることで、開花を 多少早めることが可能
	ペチュニア (シングル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ダディ™ シリーズ	☀	10,000粒/ グラム	SED/ PEL	512穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	17-18℃	13-18℃	5-6	7-8	-		25-38 cm	25-30 cm			
	ペチュニア (シングル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ドリームズ シリーズ	☀	10,000粒/ グラム	SED/ PEL	512穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	17-18℃	13-18℃	5-6	6-7	-		25-38 cm	25-30 cm			
✓	ペチュニア (シングル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	イージーライ ダー™ シリーズ	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	4	5-6	カットバック、 9-10.5cm ポット 3-4本定植: 25cm バスケット	16-24℃	14-18℃	5-6	-	6-7	(遺伝的に)超矮性種 であり、矮化剤はほ んど不要、ないし 必要最小限に抑え ることが可能	15-25 cm	20-30 cm			
✓	ペチュニア (シングル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ソフィスティカ コレクション	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴トレイ	不要	22-24℃	4	4-6	10.5-12cm ポット 1-3定植: 18cmポット 3-4本定植: 25cm バスケット	16-24℃	14-18℃	-	春期:5-7 夏期:3-5	春期:5-8 夏期:3-6	花色に(脱色等の) 影響が現れるので、 ライムバイカラーと ブラックベリーには Bナインを使用しな い。オプションとして ボンザイは可能	25-38 cm	25-30 cm			
	ペチュニア (シングル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	スーパーカスケー ド™ シリーズ	☀	10,000粒/ グラム	SED/ PEL	512穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	17-18℃	13-18℃	5-6	7-8	-		25-38 cm	25-30 cm			
	ペチュニア (シングル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	カーペット シリーズ	☀	10,000粒/ グラム	SED/ PEL	512穴、また はそれ以上 の容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	17-18℃	13-18℃	4-5	6-7	-		25-30 cm	25-38 cm			
✓	ペチュニア (シングル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	デボネア コレクション	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴トレイ	不要	22-24℃	4	4-6	10.5-12cm ポット 1-3定植: 15cmポット 3-4本定植: 25cm バスケット	16-24℃	14-18℃	-	春期:5-7 夏期:3-5	春期:5-8 夏期:3-5	花色に(脱色等の)影 響が現れるので、ブ ラックチェリーには Bナインを使用しな い。オプションとして ボンザイは可能	25-30 cm	25-30 cm			



グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど	栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)										
✓	ペチュニア (シングル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ロウライダー・ シリーズ	☀	1,200粒/ グラム	PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	4	4-6	カットバック、 9-10.5cm ポット 3-4本定植: 25cm バスケット	16-24℃	14-18℃	5-6	-	6-7	(遺伝的に)超矮性種 であり、矮化剤はほ んど不要、ないし 必要最小限に抑え ることが可能	17-25 cm	20-30 cm				
	ペチュニア (シングル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ミラージュ・ シリーズ	☀	10,000粒/ グラム	SED/ PEL	512穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	3-5	5-6	カットバック、 9-10.5cm ポット	17-18℃	13-18℃	4-5	6-7	-		25-38 cm	25-30 cm				
	ペチュニア (ダブル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ダブルカスケ ード・シリーズ	☀	9,500粒/ グラム	SED/ PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	4-6	4-5	12-13cmポッ トまたは 25cm バスケット等	17-18℃	13-18℃	-	6-7	8-9		25-38 cm	25-30 cm				
	ペチュニア (ダブル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	-バレンタイン -グロリアス ミックス	☀	9,500粒/ グラム	SED/ PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	4-6	4-5	12-13cmポッ トまたは 25cm バスケット等	17-18℃	13-18℃	-	6-7	8-9		25-38 cm	25-30 cm				
	ペチュニア (ダブル/F1 グランディフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ピロエット・ シリーズ	☀	9,500粒/ グラム	SED/ PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	4-6	4-5	12-13cmポッ トまたは 25cm バスケット等	17-18℃	13-18℃	-	6-7	8-9		25-38 cm	25-30 cm				
	ペチュニア (ダブル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	デュオ・シリーズ	☀	9,300粒/ グラム	SED/ PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	12-13cmポッ トまたは 25cm バスケット等	17-18℃	13-18℃	-	5-6	7-8		25-38 cm	25-30 cm				
	ペチュニア (ダブル/ F1マルチフローラ) <i>P. x hybrida</i>	ボナンザミックス	☀	9,300粒/ グラム	SED/ PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-24℃	3-5	4-5	12-13cmポッ トまたは 25cm バスケット等	17-18℃	13-18℃	-	5-6	7-8		25-38 cm	25-30 cm				
✓	F1 フロックス <i>P. drummondii</i>	21st世紀・ シリーズ	☀	500-850粒/ グラム	PRM	406穴、または はそれ以上の 容量	する	18-21℃	3-5	4-5	9-10.5cm ポット 3本定植: 15-18cm ポット等	13-16℃	10-13℃	-	6	7-8	粗めのパーミキュ ライトでしっかりと覆 土する。発芽時は暗 室条件が必要	25 cm	25 cm	✓		春生産のほか、(地理的 条件によっては秋の生 産も可能	
	F1 フロックス <i>P. drummondii</i>	エスニー・ シリーズ	☀	600-650粒/ グラム	SED	406穴、または はそれ以上の 容量	する	18-20℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	16-20℃	14-16℃	5-6	6-7	-	原則、矮化剤は不要	20 cm	20 cm				
	F1 フロックス <i>P. drummondii</i>	グラミー・ピンク& ホワイト	☀	500-850粒/ グラム	PRM	406穴、または はそれ以上の 容量	する	18-21℃	3-5	4-5	9-10.5cm ポット 3本定植: 15-18cm ポット等	13-16℃	10-13℃	-	6	7-8	粗めのパーミキュ ライトでしっかりと覆 土する。発芽時は暗 室条件が必要	20-25 cm	25 cm	✓		春生産のほか、(地理的 条件によっては秋の生 産も可能	
	F1 フロックス <i>P. drummondii</i>	プロミス・ シリーズ	☀	700-800粒/ グラム	SED	406穴、または はそれ以上の 容量	する	18-20℃	3-5	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	16-20℃	14-16℃	6-7	7-8		アウトドアパフォー マンズの強い品種	20 cm	20 cm				
✓	プレクトランサス <i>P. argentatus</i>	シルバークレスト	☀☀	3,000粒/ グラム	SED	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	20-22℃	4-5	4-5	9-10.5cm ポット 3本定植: 25cm バスケット	18-27℃	16-20℃	-	4-6	6-7	枝がアーチ状に育 つため、プラグをコ ンテナの外側に植 え、枝が外へ向か つて育つように位置 を調整する	20-25 cm	46-61 cm	✓		ミックスコンテナやハン ギングのほか、壁面植材 やロックガーデンなど にも使いやすい品種	
✓	プレクトランサス <i>P. argentatus</i>	シルバースー ルド	☀☀	1,100粒/ グラム	PEL	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	20-22℃	5-7	5-6	9-10.5cm ポット 2本定植: 15-18cm コンテナ等	21-24℃	18-20℃	-	8-9	9-10	発芽には光が必要。 ピンチは不要	60-75 cm	60-75 cm	✓		ストレスに強く、性質旺 盛な品種。コンテナや花 壇定植向き	
✓	ポーチュラカ <i>P. grandiflora</i>	ハッピーアワー・ シリーズ	☀	9,000粒/ グラム	SED/ MSP	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-26℃	2-3	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	20-25℃	18-19℃	5	5-6	-	日長時間との関係 については重要な ので、GrowerFacts を参照	23-30 cm	25-30 cm	✓		10時間半の日長条件の 下で播種をしても、ロゼ ットせず出荷が可能。播 種から終盤まで、(10時 間半以上の)日長時間の 維持が必要	
✓	ポーチュラカ <i>P. grandiflora</i>	ハッピートレイル ズ・シリーズ	☀	9,000粒/ グラム	SED/ MSP	288穴、または はそれ以上の 容量	不要	22-26℃	2-3	4-5	カットバック、 9-10.5cm ポット	20-25℃	18-19℃	6	7	-	日長時間との関係 については重要な ので、GrowerFacts を参照	15-23 cm	35-45 cm	✓		10時間の日長条件の下 で播種をしても、ロゼッ トせず出荷が可能。播種 から終盤まで、(10時間 以上の)日長時間の維持 が必要	

グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	プリムラ <i>P. acaulis</i>	プリムレット™ シリーズ	☀️	1,300粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽くする	17°C	7-10	406/512穴: 5-6 288穴: 6-7	9-10.5cmポット	生育段階により異なるのでGrowerFactsを参照	生育段階により異なるのでGrowerFactsを参照	-	15-17	-	13-15 cm	13-18 cm			✓	
✓	ボースレーン (ポーチュカカ/スベリヒユ) <i>P. oleracea</i>	トゥーカン・シリーズ	☀️	3,100-3,780粒/グラム	SED	288穴トレイ(4粒播きする)	不要	20-24°C	3-4	4-5	9-10.5cmまたは15cmポット、25cmバスケット等	20-24°C	18-20°C	6-7	6-7(3本植え)	8-9(4本植え)	7-10 cm	35-40 cm	✓		(セルあたり)4粒播きを推奨	
✓	ルエリア <i>R. brittoniana</i> ( <i>R. tweediana</i> )	トロピックスター・シリーズ	☀️	488粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	22-25°C	5-6	5-6	カットバック、9-10.5cmまたは15cmポット、15-18cmコンテナ等	20-24°C	18-20°C	春期:10 夏期:8	春期:10 夏期:8	春期:10(3本植え) 夏期:8(3本植え)	25-30 cm	40-45 cm	✓		温暖な気候に向いている植物	
	サルビア <i>S. splendens</i>	フレア	☀️	256粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	23-24°C	4-6	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	20-23°C	18-20°C	4-5	4-5	-	プラグ生産の初期段階では、高塩類に敏感に反応するので注意する	35 cm	20 cm	✓		
	サルビア <i>S. splendens</i>	ライトハウス・シリーズ	☀️	256粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	21-24°C	4-6	4-5	10.5cmポット	20-23°C	18-20°C	4-5	4-5	-	プラグ生産の初期段階では、高塩類に敏感に反応するので注意する	60-75 cm	25-30 cm	✓	造園から鉢のミックスコンテナまで、多様な利用が可能	
	サルビア <i>S. splendens</i>	スカーレットキング	☀️	256粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	21-24°C	4-6	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	20-23°C	18-20°C	4-5	-	-	プラグ生産の初期段階では、高塩類に敏感に反応するので注意する	28 cm	20 cm	✓		
	サルビア <i>S. splendens</i>	スカーレットクイーン	☀️	256粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	21-24°C	4-6	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	20-23°C	18-20°C	4-5	-	-	プラグ生産の初期段階では、高塩類に敏感に反応するので注意する	23 cm	20 cm	✓		
	サルビア <i>S. splendens</i>	レッドホットサリビスタ・シリーズ	☀️	256粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	21-24°C	4-6	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	20-23°C	18-20°C	4-5	4-5	-	プラグ生産の初期段階では、高塩類に敏感に反応するので注意する	25-30 cm	20 cm	✓		
✓	スクテラリア <i>S. javanica</i>	ヴェランダ	☀️	1,367粒/グラム	SED	288から406穴トレイ	不要	21-24°C	6-10	406穴: 6 288穴: 7	カットバック、9-10.5cm、15-18ポット、またはハンギングなど	22-26°C	19-20°C	7-10	8-11	9-12	高い温度を好む。生育の早晩は温度条件によって大きく変わる	25 cm	25-30 cm	✓		
✓	キンギョソウ (スナップドラゴン) F1 矮小花壇用品種 <i>Antirrhinum majus</i>	スナップショット・シリーズ	☀️	6,000粒/グラム	SED	288穴トレイ	軽くする	18-20°C	4-8	5-6	カットバック、9-10.5cmポット	13-21°C	7-13°C	6	6	-	15-25 cm	25-30 cm		✓		
	キンギョソウ (スナップドラゴン) F1 促成切花品種 <i>Antirrhinum majus</i>	トランペット・タンジェリン	☀️	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽くする	18-20°C	4-6	4-5		16-24°C	7-13°C			8-19	育苗および栽培の詳細は66ページの切花の項目を参照。覆土は軽くする	100-150cm				
	キンギョソウ (スナップドラゴン) F1 花壇用品種 <i>Antirrhinum majus</i>	ロケット・シリーズ	☀️	6,350粒/グラム	SED	288穴トレイ	軽くする	18-20°C	4-8	5-6	15-18cmポット/コンテナに3本定植など	18-26°C	13-16°C	-	-	13-16	育苗および栽培の詳細は66ページの切花の項目を参照。覆土は軽くする	75-90 cm	40-45 cm	✓	春から初夏に開花する花壇やガーデン切花に向いたキンギョソウ	
✓	キンギョソウ (スナップドラゴン) F1 花壇用品種 <i>Antirrhinum majus</i>	ソルステイス・シリーズ	☀️	6,350粒/グラム	SED	288穴トレイ	軽くする	18-20°C	4-8	5-6	9-10.5cmポット 3本定植: 15-18cmコンテナ等	13-21°C	7-13°C	-	10-1月初旬播種:9-10	10-1月初旬播種:9-10	低温条件(13°C以下)で芯の固いステムをもった、最良のパフォーマンスを示す	40-50 cm	25-35 cm	✓	グループ1に属するガーデン用品種。低温、短日の条件で開花する。北半球では9月から1月の秋冬播き、また南半球では逆に3月から7月播きが適当	
	キンギョソウ (スナップドラゴン) F1 切花品種 <i>Antirrhinum majus</i>	-アポロ -ケール -メリーランド -モナコ -アーリー/ポトマック (上記)各シリーズ -パープルツイスト -レッドデリラ	☀️	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽くする	18-20°C	4-5	4-5	切花品種	育苗および栽培の詳細は64から67ページの切花の項目を参照	育苗および栽培の詳細は64から67ページの切花の項目を参照	-	-	8-18	育苗および栽培の詳細は64から67ページの切花の項目を参照	100-150cm				

グロウワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)			栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
														9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	スパイランセス <i>Acmella oleracea</i>	ピーカーブー	☀	4,100粒/グラム	COT	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24℃	4	4-5	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	18-24℃	17-18℃	-	7-8	7-8	発芽には光が必要。ピンチは不要	30-38 cm	60-76 cm	✓		隙間があると、初期からひとつの方向にのみに茎が伸びやすい。ポットを少し密な状態にすると、アップライトに育つ。早めにピンチすることで、分枝が促され、草姿もまとまりやすくなる
	スターチス (リモニウム) <i>Limonium sinuatum</i> ※この品種はKieft Seedブランドとして供給されます	QIS(キッス)・シリーズ	☀	350粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	する	21℃	3-8	4-5		13-16℃	10-13℃	-		18-24 (低温処理: 12-15週)	育苗および栽培の詳細は62ページの切花の項目を参照	60-90 cm	30 cm			生花のほか、ドライフラワーなどでも人気がある。しっかりした固いステムなので、ネット掛けは不要
✓	タリナム <i>T. paniculatum</i>	リモン	☀	2,000粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-23℃	4-5	5	9-10.5cmポット 3本定植: 15-16cmポット等	19-23℃	17-19℃	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)		70-80 cm	40-45 cm	✓		コンテナでも花壇定植でも使いやすい品種
✓	タリナム <i>T. paniculatum</i>	ヴェルデ	☀	2,000粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-23℃	6	5	9-10.5cmポット 3本定植: 15-16cmポット等	19-23℃	17-19℃	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)	4-5 (花なし/ 葉のみ); 6-7 (花つき)		80 cm	60 cm	✓		コンテナでも花壇定植でも使いやすい品種
	ツンベルギア <i>T. alata</i>	スージー・シリーズ	☀	40粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	軽くする	21-24℃	6-12	4-5	10cm前後または15-18cmポット	17-20℃	16-17℃	-	4-5	8-10	播種前に一晩水に浸すと発芽が早まる	約200 cm (つる状に育つ)	-			
✓	トレニア <i>T. furnieri</i>	カウアイ・シリーズ	☀☀	1,000-1,150粒/グラム	PEL	288穴、またはそれ以上の容量	不要	22-24℃	4-6	5-6	カットバック、9-10.5cmポット	18-21℃	17-18℃	5-6	6-7	-	発芽時には光が必要	20cm	20 cm	✓		
	ユウギリソウ (トラキリウム) <i>T. caeruleum</i>	-レークフォレスト -レークミシガン -レークレイズ 各シリーズ	☀☀	750粒/グラム	PEL	200穴トレイ	不要	21℃	7-10	7-9	切花品種	17-20℃	16℃	-	-	10-18	育苗および栽培の詳細は66ページの切花の項目を参照	75-105 cm	-			
✓	バーベナ <i>V. x hybrida</i>	クオーツシリーズ (XP品種)	☀	420粒/グラム	SED/ PRM	406穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	4-6	4	カットバック、9-10.5cmポット	18-21℃	16℃	春期:6-8 夏期:5-7	春期:6-8 夏期:5-7	-	プラグステージ1の発芽の段階では、培地の水分が多すぎないようにする	20-25 cm	25-30 cm			
✓	バーベナ <i>V. x hybrida</i>	クオーツ・ブルー/ ウォーターフォー ルミックス	☀	420粒/グラム	SED/ PRM	406穴、またはそれ以上の容量	する	22-24℃	4-6	5	カットバック、9-10.5cmポット	18-21℃	16℃	春期:7-9 夏期:6-7	春期:7-9 夏期:6-7	-	プラグステージ1の発芽の段階では、培地の水分が多すぎないようにする	25-30 cm	30-35 cm			
	ビンカ <i>Catharanthus roseus</i>	ジャムズ&ジェ リー・シリーズ	☀	430-850粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	24-25℃	3-5	5	カットバック、9-10.5cmポット	24℃以上	18-20℃	5-6	7-8	-	矮化剤による処理は原則必要ないであろう。換気や(マイナス)DIFによって草丈の制御は可能である。ボンザイシステムの矮化剤では一部葉害の報告があるので、必要であればBナインなどが適当	35-40 cm	25-30 cm	✓		
	ビンカ <i>Catharanthus roseus</i>	パシフィカ・シリーズXP	☀	430-850粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	24-25℃	3-5	5	カットバック、9-10.5cmポット	24℃以上	18-20℃	5-6	7-8	-	矮化剤による処理は原則必要ないであろう。換気や(マイナス)DIFによって草丈の制御は可能である。ボンザイシステムの矮化剤では一部葉害の報告があるので、必要であればBナインなどが適当	25-35 cm	15-20 cm	✓		



グロワー・ファクトリー	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励され録・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど						
✓	ピンカ <i>Catharanthus roseus</i>	F1 タイタン™ シリーズ	☀	650粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	24-25℃	3-5	5	カットバック、 9-10.5cm ポット	24℃以上	18-20℃	3-4	4-5	-	矮化剤による処理は原則必要ないであろう。換気や(マイナス)DIFによって草丈の制御は可能である。ボンザイシステムの矮化剤では一部葉害の報告があるので、必要であればBナインなどが適当	35-40 cm	25-30 cm	✓		
✓	ピンカ <i>Catharanthus roseus</i>	F1タリリアント™ シリーズ	☀	650粒/グラム	SED	288穴トレイ	する	24-25℃	3-5	5	カットバック、 9-10.5cm ポット	24℃以上	18-20℃	3-4	4-5	-	矮化剤による処理は原則必要ないであろう。換気や(マイナス)DIFによって草丈の制御は可能である。ボンザイシステムの矮化剤では一部葉害の報告があるので、必要であればBナインなどが適当	35-50 cm	25-30 cm	✓		バリアント・シリーズはフィットラ(菌)に対して、国際種子連盟(ISF)のガイドラインによる、中度抵抗性(R)を有する品種
✓	ピンカ (トレーリング品種) <i>Catharanthus roseus</i>	メディタレニアン シリーズ (XP/スタンダード)	☀	430-850粒/ グラム	SED	288穴トレイ	する	24-25℃	3-5	5	1本:10.5cm 7本定植: 25cm バスケット 9本定植: 30cm バスケット	24℃以上	18-20℃	-	春期:8-9 夏期:5-6	春期:12-14 夏期:8-10	保温床による加温で成苗率の上昇と生産期間の短縮が可能	10-15 cm	50-75 cm	✓		播種後12から15週でトレーリング(下垂する性質)が現れ始める
✓	F1 ピオラ <i>V. cornuta</i>	ソルベ™ シリーズ (XP/スタンダード)	☀	1,300-1,400 粒/グラム	SED/ PRM	288穴、またはそれ以上の容量	する	20℃	3-4	4	カットバック、 9-10.5cm ポット	16℃	10-13℃	3-5	4-6	-		15-20 cm	15-20 cm	✓		
	ジニア <i>Z. angustifolia</i>	スター™ シリーズ	☀	2,300粒/ グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	2-5	4-5	9-10.5cm ポット	18-21℃	18-21℃	5-6	6-7	-		35 cm	20 cm	✓		
✓	ジニア <i>Z. marylandica</i>	ザハラ™ シリーズ	☀	400-600粒/ グラム	COT	288穴、またはそれ以上の容量	軽く する	20-22℃	2-3	3	9-10.5cm ポット	18-21℃	16-18℃	春期:8-9 夏期:5-6	春期:8-9 夏期:5-6	-	株や花への過湿は避ける。灰カビに十分注意しながら監視する	30-45 cm	30-45 cm	✓		
✓	ジニア <i>Z. marylandica</i>	ザハラXL™ シリーズ	☀	350-600粒/ グラム	COT	288穴、またはそれ以上の容量	軽く する	20-22℃	2-3	3	10cm前後、 3本定植: 15-18cmポット	18-21℃	16-18℃	春期:8-9 夏期:5-6	春期:8-9 夏期:5-6	-	株や花への過湿は避ける。灰カビに十分注意しながら監視する	45-60 cm	45-60 cm	✓		
✓	ジニア(ダブル) <i>Z. marylandica</i>	ダブルザハラ™ シリーズ	☀	350-600粒/ グラム	COT	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-22℃	2-3	3	10cm前後、 3本定植: 15-18cmポット	18-21℃	15-17℃	-	春期:8-9 夏期:5-6	春期:8-9 夏期:5-6		40-50 cm	40-50 cm	✓		
	ジニア <i>Z. violaceae</i> (syn. <i>Z. elegans</i> )	F1 ステートフェア ミックス	☀	67粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	する	21-22℃	2-5	4-5	10cm前後 または15cm ポット	18-21℃	18-21℃	-	6-7	7-8		90-120 cm	30-35 cm	✓		

グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
	アカンサス <i>A. mollis</i>		6-10		☀️	5粒/g (SED)	180穴トレイ	1	必要	18-25℃ (播種前に水に24時間漬ける)	14-21	16-18℃		8-10		必要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.2 / 1.0-1.2		長日が有効	3-5月播種: 7-10週 開花/出荷: 5-8月	36-40	ソリッドグリーン。造園向き品種	草丈: 100cm 株張: 80-90cm	✓	
	アガスタチェ <i>A. astromontana</i>	ピンクポップ	7-10	✓	☀️	3,500-4,000粒/g (SED)	288穴トレイ	4	不要	18-20℃ 光は不要	5-7	16-18℃	Bナイン 500 ppm	6-7		不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.2 / 1.2-1.4 2000 ppm	長日が有効	3-5月播種: 7-10週 開花/出荷: 5-8月	-	昼間温度が18℃を下回ると発育に遅れを生じる。ポトリティス、ウドンコ病、スクレロチニアなどの病気に注意する	草丈: 25-30cm 株張: 20-25cm	✓		
	アルケミラ <i>A. erythrapda</i>	アルマ	3-8		☀️	1,600-1,800粒/g (SED)	288穴トレイ	4	任意(オプション)	18-20℃ 光は不要	8-10	16-18℃	不要	8-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	必要: 4℃以下で10週間	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 15-18℃ 夜間: 10-13℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	不要	-	6-7月播種: 32-38週 開花/出荷: 4-6月	冬期の肥料は不要だが、春に再び生長の動きが見えたら再開する。マグネシウムおよび鉄欠乏に注意。害虫ではアブラムシに注意	草丈: 15-20cm 株張: 30-36cm	✓		
	アルケミラ <i>A. mollis</i>	アイリッシュシルク	3-8		☀️	3,000-3,400粒/g (SED)	288穴トレイ	4	任意(オプション)	7日間、5℃で予冷後に、16-18℃に置く(光が必要)	10-15	16-8℃	不要	8-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	必要	1本定植: 10.5-13cm 1-3本定植: 15-20cm	昼間: 15-18℃ 夜間: 10-13℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	不要	長日が有効	6-7月播種: 32-38週 開花/出荷: 4-6月	冬期の肥料は不要だが、春に再び生長の動きが見えたら再開する。マグネシウムおよび鉄欠乏に注意。害虫ではアブラムシに注意	草丈: 30-35cm 株張: 35-40cm	✓		
	アレギア <i>A. vulgaris</i>	クレメンタイン	3-8		☀️	600-800粒/g (SED)	288穴トレイ	2-3	軽くする	20-22℃ 光はオプション	7-12	18-20℃	不要	7-8		必要: 本葉10枚くらいの早い段階で10から12週間	15-20cm	昼間: 18℃ 夜間: 10-12℃	5.8-6.4 / 1.0-2.0 2500 ppm	Bナイン	ニュートラル	-	6-7月播種: 36-40週 開花/出荷: 4-5月	相対湿度65%を維持。ウドンコ病、アブラムシ、スクレロチニア、ハモグリ、ハダニ、キノコバエなどに注意。12から15℃の条件で促成栽培が可能	草丈: 35-40cm 株張: 30-35cm	✓	
✓	アレギア <i>A. vulgaris</i>	ウィンキー・シリーズ (シングル/ダブル)	3-8		☀️	600-800粒/g (SED)	288穴トレイ	2-3	軽くする	20-22℃ 光はオプション	7-12	18-20℃	不要	7-8		必要: 本葉10枚くらいの早い段階で10から12週間	1本定植: 12-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 10-15℃	5.8-6.4 / 1.0-2.0 2500 ppm	(任意に) Bナイン	ニュートラル	-	6-7月播種: 36-40週 開花/出荷: 4-5月	相対湿度65%を維持。ウドンコ病、アブラムシ、スクレロチニア、ハモグリ、ハダニ、キノコバエなどに注意。12から15℃の条件で促成栽培が可能	草丈: 30-35cm 株張: 30-35cm	✓	
✓	アレギア <i>A. x caerulea</i>	F1 ソングバード・シリーズ	3-9	✓	☀️	950粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	21-24℃ 光は必要	10-14	18-20℃	タンクミックス(Bナイン 2500 ppmとアレスト 10 ppm) 散布	6-8		必要: 低温処理は、目安として昼間温度15℃、夜間温度13℃の帯域で行う。葉枚数が12から15枚くらいで開始し、5℃の条件で4週間、または13℃で6週間行う	15cmポットが目安	昼間: 16-20℃ 夜間: 13-18℃	5.8-6.4 / 1.0-2.0	タンクミックス (Bナイン 2500 ppmとアレスト 10ppm) 散布	低温処理しない場合は長日管理する (低温処理後はニュートラル)	9月中旬-10月下旬播種: 22-28週 開花/出荷: 4月下旬-5月中旬	7-8月播種: 32-38週 開花/出荷: 4月下旬-5月中旬	花芽分化には夜温13℃以下の条件が必要	草丈: 28-45cm 株張: 25-35cm	✓	
✓	アレギア <i>A. x caerulea</i>	F1 スワン・シリーズ	3-9	✓	☀️	950粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	21-24℃ 光は必要	10-14	18-20℃	タンクミックス(Bナイン 2500 ppmとアレスト 10 ppm) 散布	6-9		必要: 低温処理は、目安として昼間温度15℃、夜間温度13℃の帯域で行う。葉枚数が12から15枚くらいで開始し、5℃の条件で4週間、または13℃で6週間行う	15cmポットが目安	昼間: 16-20℃ 夜間: 13-18℃	5.8-6.4 / 1.0-2.0	タンクミックス (Bナイン 2500 ppmとアレスト 10ppm) 散布	低温処理しない場合は長日管理する (低温処理後はニュートラル)	9月中旬-10月下旬播種: 22-28週 開花/出荷: 4月下旬-5月中旬	7-8月播種: 32-38週 開花/出荷: 4月下旬-5月中旬	花芽分化には夜温13℃以下の条件が必要	草丈: 50-60cm 株張: 30-35cm	✓	
	アラビス <i>A. blepharophylla</i>	スプリングチャーム	4-7		☀️	1,800-2,200粒/g (SED)	288穴トレイ	4	不要	20-22℃ 光はオプション	3-5	18-20℃	不要	6-8		必要: 8から10週間	9-13 cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 10-12℃	5.5-6.5 / 1.0-1.2	不要	長日が有効	-	6-8月播種: 30-36週 開花/出荷: 4-5月	水はけのよい培土を用いる。肥料は適度に与える。ポトリティス、ピシウム、ベト病、リゾクトニア、アブラムシなどに注意する	草丈: 15-20cm 株張: 20cm	✓	

\* プラゲトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロワー・ファクトリー	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度,光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット,コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点,病気,アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	アラビス <i>A. caucasica</i>	ロッセイ・シリーズ	4-7		☀	ホワイト: 2,800-3,300粒/g Deepローズ: 3,600-4,000粒/g (FCS)	288穴トレイ	3-4	不要	18-20°C 光は不要	4-7	18-20°C	不要	5-6		必要: 2-5°Cの条件で8から10週間	1本定植: 9-13cm 1-3本定植: 15-18cm	昼間: 10-18°C 夜間: 8-10°C	5.8-6.5 / 1.0-1.5	Bナイン 3500 ppm	ニュートラル	-	7月下旬-9月上旬播種: 25-28週 開花/出荷: 2-3月下旬	施肥は少なめ,あるいは適度に与える。可能な限り,低温,低温で管理。ポトリティス,ピシウム,ペト病,リプクトニア,アブラムシなどに注意する	草丈: 10-15cm 株張: 15-20cm		✓
	アレナリア <i>A. montana</i>	アバランチュ	4-8		☀	750-900粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する(軽く,パーミキュライトを)	(前処理として) 10°Cで2週冷蔵 16-18°C	8-10	16-18°C		8-10	乾燥を好む。立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	必要: 8から10週間	1本定植: 12-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 16-18°C 夜間: 10-12°C	5.8-6.5 / 1.0-1.2		長日が有効	-	2-5月播種: 40-44週 開花/出荷: 5-6月	肥料はふつうないし控えめに保つ。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。アブラムシに注意。ピンチをすれば動きが遅くなり,9月になっても未開花の場合もある	草丈: 15-20cm 株張: 25-30cm		✓
✓	アルメリア <i>A. psudermaria</i>	バレリーナ・シリーズ	7-9	✓	☀☀	1,000-1,100粒/g (SED)	288穴トレイ	2-4	不要	16-18°C 光はオープンショナル	3-6	16-18°C	不要	5-6		不要	1本定植: 9-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 16-18°C 夜間: 10-14°C	5.8-6.2 / 1.2-1.4	不要	ニュートラル	2-5月播種: 12-15週 開花/出荷: 5-9月	8-9月播種: 28-36週 開花/出荷: 3月下旬-5月	マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ハダニやアブラムシに注意。寄せ植えの芯材に最適	草丈: 20-25cm 株張: 20-25cm	✓	✓
✓	ベリス(ベリイズ) <i>B. perennis</i>	ベリッシマ・シリーズ	4-7		☀	750/g (SED)	406穴,またはそれ以上の容量	1-2粒: 288-406 2粒: 188	する	18-22°C	3-5	ステージ2: 18-20°C ステージ3: 16-18°C		5			1本定植: カットバック 9-10.5cm 3本定植: 13cm	昼間: 16-18°C 夜間: 5-7°C	5.8-6.2 / 0.5-0.75	不要		6-10週 (北アメリカ: 秋/春)	13-15 (北ヨーロッパ: 春) 7-9 (北ヨーロッパ: 秋)	覆土は,発芽揃いを促すよう,粗めのパーミキュライトでふつうにする。できるだけ低温管理をするが,凍らないように注意する。促成をかける場合は,出荷の約4週前から10-12°Cの条件で管理する	草丈: 15-25cm 株張: 13-20cm		✓
	カンパニユラ <i>C. carpatica</i>	F1 ラビド・シリーズ	3-9	✓	☀☀	1,400-1,700粒/g (PEL)	288穴,またはそれ以上の容量	4	不要	18-22°C 光は必要	7-9	16-18°C	不要	7-10	栄養生長を促すため,13時間以下の日長で管理する。立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10-13cm 2-3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18°C 夜間: 10-14°C	5.8-6.2 / 1.0-1.2	通常は不要。必要であればサイコセル 750ppmの使用が可能。またはBナイン, 2000が有効	花芽分化までは,14時間の長日条件(あるいは4時間の暗期中断)が必要	2-6月播種: 9-12週(長日条件) 開花/出荷: 5-8月	-	水はけのよい培土を用いる。育苗期,鉢上げ後ともに,温度が低すぎると生育が遅れるので注意する。Bナインを使用すると,開花が1週程度遅れる	草丈: 12-18cm 株張: 12-20cm		
✓	コレオプシス <i>C. grandiflora</i>	アーリーサンライズ	4-9	✓	☀☀	375粒/g (SED)	288穴,またはそれ以上の容量	1-2粒: 288 2粒: 188	軽くする	18-20°C 光はオープンショナル	5-6	昼間: 21-24°C 夜間: 16-18°C	不要	5		不要	1本定植: 10cm前後 1-3本定植: 17cm	昼間: 16-21°C 夜間: 13-16°C	5.8-6.2 / 1.5-2.0	必要であれば,花芽がついてからBナイン 2,000ppm	14時間以上の長日条件が必要	9-12週	-	ホワイトフライ,スリップス,アブラムシ,ウドンコ病などに注意	草丈: 60cm 株張: 55-60cm		✓
✓	コレオプシス <i>C. grandiflora</i>	ライジングサン	4-9	✓	☀☀	375粒/g (SED)	288穴,またはそれ以上の容量	1粒: 288 2-4粒: 84	軽くする	18-20°C 光はオープンショナル	5-6	昼間: 21-24°C 夜間: 16-18°C	不要	5		不要	1本定植: 10cm前後 3本定植: 17cm	昼間: 16-21°C 夜間: 13-16°C	5.8-6.2 / 1.5-2.0	必要であれば,花芽がついてからBナイン 2,000ppm	13時間以上の長日条件が必要	8-10週	-	ホワイトフライ,スリップス,アブラムシなどに注意	草丈: 45-75cm 株張: 60-65cm		✓
✓	コレオプシス <i>C. grandiflora</i>	サンアップ	4-9	✓	☀☀	400-450粒/g (SED)	288穴,またはそれ以上の容量	1粒: 288 2-4粒: 84	軽くする	18-20°C 光はオープンショナル	5-6	昼間: 21-24°C 夜間: 16-18°C	不要	5		不要	4 in. (10 cm), 1 ppp: Gallon (17 cm), 1-3 ppp	60-70°F (16-21°C) Day: 55-60°F (13-16°C) Night	5.8-6.2 / 1.5-2.0	必要であれば,花芽がついてからBナイン 2,000ppm	12時間半以上の長日条件が必要	8-12週	-	ホワイトフライ,スリップス,アブラムシなどに注意	草丈: 25-30cm 株張: 30-35cm		✓

\* プラゲトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は,原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です



グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたりの数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	コレオプシス <i>C. grandiflora</i>	サンファイア	4-9	✓	☀️	375粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1粒: 288 2-4粒: 84穴	軽くする	18-20℃ 光はオプション	5-6	昼間: 21-24℃ 夜間: 16-18℃	不要	5		不要	1本定植: 10cm前後 3本定植: 17cm	昼間: 16-21℃ 夜間: 13-16℃	5.8-6.2 / 1.5-2.0	必要であれば、花芽がついてからBナイン 2,000ppm	13時間以上の長日条件が必要	8-10週	-	ホワイトフライ、スリップス、アブラムシなどに注意	草丈: 60cm 株張: 55-60cm	✓	
	デルフィニウム <i>D. belladonna</i> ,	F1 ダサンテブルー	5-9	4		3,500-4,000粒/g (SED)	288穴または180穴	1粒: 288 4粒: 180	する	20-22℃	7-10	18-20℃	不要	5-6	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要だが有効にはたらく	1本定植: 15-18cm 3本定植: 20cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 14-16℃	5.8-6.2 / 1.5-2.0	ボンザイ 5-6ppm 散布	ニュートラル	12-16週		ウドン粉病に注意	草丈: 80-100cm 株張: 20-25cm		
✓	デルフィニウム <i>D. elatum</i>	F1 ガーディアン・シリーズ	4-7	✓	☀️	325粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	20-21℃ 光はオプション	7-8	20-22℃	不要	6-7		不要	1本定植: 15cm以上 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 16℃	5.8-6.2 / 1.5	ボンザイ 20ppm 散布	ニュートラル	16週 開花/出荷: 5月中旬-6月	-	左記はポット生産の概要。切花生産については、育苗および栽培の詳細はXXページを参照	草丈: 75-100cm 株張: 25-30cm	✓	
✓	デルフィニウム <i>D. elatum</i> , <i>x belladonna</i> , <i>x bellamosum</i>	F1 ダサンテブルー	4-7	✓	☀️	500-750粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	20-21℃ 光はオプション	7-8	20-22℃	不要	6-7		不要	1-2本定植: 15-18cm 3本定植: 20cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 13-17℃	5.8-6.0 / 1.5-2.0	ボンザイ 20ppm 散布	ニュートラル	11-13週 開花/出荷: 5月中旬-6月	-	一番花の花穂の下側の3分の1が開きはじめた頃に出荷すると、輸送中の花振るいのリスクが減る	草丈: 70-85cm 株張: 25-30cm	✓	
✓	デルフィニウム <i>D. grandiflorum</i>	F1 ダイアモンドブルー	4-7	✓	☀️	600-850粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	20-21℃ 光はオプション	7-8	20-22℃	不要	6-7		不要	1-3本定植: 15-18cm 3本定植: 20cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 13-17℃	5.8-6.0 / 1.5-2.0	ボンザイ 20ppm 散布	ニュートラル	10-12週 開花/出荷: 5月中旬-6月	-		草丈: 40-60cm 株張: 25-30cm	✓	
	デルフィニウム <i>D. nudicaule</i>	レッドキャップ	6-9	✓	☀️	700-800粒/g (SED)	288穴トレイ	3-4	する(軽く、パーミキュライトを)	20-22℃ 光はオプション	7-10	18-20℃		6-8	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10-13cm 3本定植: 15-20cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.5-6.5 / 1.2-1.4	Bナイン 3000ppm	ニュートラル	2-5月播種: 12-14週 開花/出荷: 5-7月	-	適度な肥料を必要とする。水はけのよい培地を用いて、培地はなるべく乾燥させて管理する(過湿にしない)。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ウドンコ病、斑点病、ナメクジ、カタツムリ、ハモグリなどに注意	草丈: 20-30cm 株張: 20-25cm	✓	
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1 ブーケ・シリーズ	4-9	✓	☀️	300粒/g (PEL)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	18-20℃ 光は必要	3-5	16-18℃	ボンザイ 6ppm 散布	4-5		不要	1本定植: 15cm前後 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 10-16℃	5.8-6.2 / 1.5-2.0	ボンザイ 20ppm 散布 (1-2回)	ニュートラル	8-9週	-	矮化剤への反応がよい品種(矮化剤は花壇に用いる場合に必要)。営利用切花栽培は、切花の項目(xxページから)を参照	草丈: 45-75cm 株張: 25-30cm	✓	
✓	ダイアンサス(ダブル咲品種) <i>D. barbatus interspecific</i>	F1ダイナステイ・シリーズ	6-8	✓	☀️	250-300粒/g (PEL)	406穴、またはそれ以上の容量	1	する(軽く、パーミキュライトを)	18-20℃ 光は必要	3-5	16-18℃	ボンザイ 6ppm 散布	4-5		不要	10.5-15cmまでのポット	昼間: 16-22℃ 夜間: 10-16℃	5.8-6.2 / 1.5-2.0	ボンザイ 20ppm 散布 (2-3回)	長日が有効	8-9週	-		草丈: 40-50cm 株張: 25cm	✓	
	ダイアンサス <i>D. deltoides</i>	アーケティックファイア	4-7	✓	☀️	3,500-4,500粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する(軽く、パーミキュライトを)	18-20℃ 光は必要	5-7	16-18℃		6-8	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 15cm前後 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 10-12℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	サイコセル 2000ppm	ニュートラル	2-5月播種: 10-14週 開花/出荷: 5-7月	7月播種: 36-44週 開花/出荷: 4月下旬-5月	肥料は少なく抑える。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。フザリウム、斑点病、ナメクジ、アブラムシなどに注意	草丈: 15-20cm 株張: 20-25cm	✓	✓
✓	ジギタリス <i>D. purp</i>	ダルメシアン・シリーズ	5-9	✓	☀️	800-1,000粒/g (PEL)	288穴トレイ(13cm以下)、84穴トレイ(15-20cmのポット)	1粒: 288 4粒: 84	不要	18-20℃ 光はオプション	5-6	18-20℃	Bナイン 2000ppm / ボンザイ 5ppm	6-7 (84) 5-6 (288)	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	15cm(288穴から1本) 15-20cm (84穴から1本) 18-20cm (84穴から3本)	昼間: 16-20℃ 夜間: 10-18℃	5.8-6.2 / (初期は) 1.0-1.2、(その後) 1.3-1.5	Bナイン 2500 / ボンザイ 5-10ppm	長日が有効	2-3月播種: 10-14週 開花/出荷: 5月下旬-7月	-	水分が十分に供給されていれば、光は高い条件を維持する	草丈: 40-50cm 株張: 30-36cm	✓	

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度,光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット,コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点,病気,アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	エキナセア <i>E. purpurea</i> (Coneflower)	-バウワウ・シリーズ -シャイアン スピリット	4-10	✓	☀	260-270粒/g (SED)	288穴 または それ以上の容量	1	する	22-24℃ 光はオプショナル	4-10	ステージ 2: 22-23℃ ステージ 3: 20-21℃	不要	6-7 (72) 6-7 (128) 5-6 (288)	(初期は個体差が出やすいので) 苗の挿し替えは遅い。ステージがよい	不要	13cmあるいは15-18cmポット	昼間: 16-24℃ 夜間: 10-16℃	6.0-6.5 / 1.5-2.0	タンクミックス (Bナイン 2500 ppm とサイコセル 750-1000 ppm)	短日-長日の条件をコントロールしながら、促成をかける(詳細はグロウワーファクトを参照)	1月上旬播種: 13-17週 開花/出荷: 5月中下旬	7月-9月上旬播種: 30-40週 開花/出荷: 5月-6月上旬	冬越しをする場合は培地を乾燥させて維持する。アブラムシ、ファンガスナッツ、ウドンコ病などに注意。冬越しをした個体は、いくぶん早く開花し、花茎が短く詰まって、より多くの分枝をつくる	初年度草丈: 40-50cm 株張: 30-40cm 2年目草丈: 56-60cm 株張: 30-40cm	✓	
	エリゲロン <i>E. karvinskianus</i>	スタローン	6-9	✓	☀	10,000-12,000粒/g (SED)	288穴トレイ	4	不要	16-18℃ 光は不要	7-10	18-20℃	7-9	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5 / 1.1-1.3	サイコセル 2000 ppm	13時間以上の長日条件が必要	10-14週 (長日条件) 開花/出荷: 5-7月	36-40週 開花/出荷: 5-7月	やや乾燥ぎみに管理する。コンパクトな株を得るには低い湿度と高い光条件が必要。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ウドンコ病やナメクジに注意。宿根コンテナのエッジに最適	草丈: 15-20cm 株張: 30-36cm	✓	✓	
✓	ガイラルディア <i>G. x aristata</i>	メサ・シリーズ	5-10	✓	☀	250-350粒/g (SED)	288穴 または それ以上の容量	1	する	20-23℃ 光はオプショナル	4-5	ステージ 2: 20-23℃ ステージ 3: 8-19℃	不要	6-7 (72) 6-7 (128) 5-6 (288)		1本定植: 10.5-13cm あるいは17cm 3本定植: 25cm コンテナ等	昼間: 16-21℃ 夜間: 10-16℃	6.0-6.5 / 1.5-2.0	Bナイン 2500-5000 ppm	長日が有効	2月上旬播種: 11-13週 開花/出荷: 5月下旬-6月上旬	7月-9月上旬播種: 30-38週 開花/出荷: 4月-5月上旬	ファンガス、スリップス、INSV、白斑病、ウドンコ病	草丈: 35-40cm 株張: 50-55cm	✓		
	ガウテリア <i>G. procumbens</i>	ベリーベリー	6-9	4		35-40粒/g (SED)	288穴トレイ	8粒: 288	不要	18-20℃	7-10	18-20℃	不要	8-12	0.4から0.5の低いECレベルを維持し、均一な水分供給を心掛ける。過湿にはしない。立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要だが有効にはたらく	10.5-13cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 15-16℃	4.3-5.0 / 0.7から最大0.8		36-42	42-46週 (実がつくまで)		草丈: 12-15cm 株張: 15-20cm			
✓	ガウラ <i>G. x lindheimeri</i>	スパークル ホワイト	5b-9	✓	☀☀	65-85粒/g (SED)	288穴トレイ	1	する	18-20℃ 光は必要	5-6	19-21℃	不要	5-6 (288)		不要: 低温処理をしなくても開花するが、約6週の処理で結果として早く開花する	10.5-15cm、あるいは17cm前後のポット	昼間: 15-21℃ 夜間: 10-18℃	5.8-6.2 / 1.5-2.0	タンクミックス (Bナイン 2500 ppm とサイコセル 750-1000 ppm)	量的長日開花植物で、13時間が臨界	暖地では7-8週、冷涼地では11-14週。1月播種で開花/出荷は5月から6月上旬	7月-9月上旬播種: 開花/出荷: 5月中下旬	水はけのよい培土を用いる。冬期は過湿を嫌う。アブラムシに注意	草丈: 30-60cm 株張: 30-50cm	✓	
✓	ジブソフィラ <i>G. cerastoides</i>	ピクシー スプラッシュ	4-7		☀	2,100-2,400粒/g (TUN)	288穴トレイ	4	不要	16-18℃ 光は必要	3-4	16-18℃	5-6	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	必要: 5℃未満で8週間	8-13cmポット	昼間: 16-18℃ 夜間: 10-14℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	不要	ニュートラル	-	7-8月播種: 26-40週 開花/出荷: 4月下旬-5月	水はけのよい土を用いる。低温、過湿条件(とくに冬の過湿)を嫌う。肥料は適度に与える。ボトリティス、アブラムシ、ハダニ、ホワイトフライなどに注意。宿根コンテナのエッジに最適	草丈: 8-13cm 株張: 10-18cm	✓		
✓	ヒューケラ <i>H. hybrida</i>	-メルティン グファイア -マラカイト	5-8		☀	900-1,100粒/g (PEL)	288穴トレイ	6-8	原則不要 (パーミキュライト、ピニールシート等で軽く覆土は可)	20-22℃ 光は必要	メルティン グファイア: 10-14 マラカイト: 8-10	18-20℃	8-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-20℃ 夜間: 14-16℃	5.8-6.2 / 1.2-1.4	不要	N/A	1-5月播種: 12-16週 開花/出荷: 5-7月	6-7月播種: 32-36週 開花/出荷: 3-5月	過湿、極端な乾燥ともに避ける。水はけのよい培地を用いる。ピシウム、ボトリティス、ウドンコ病、アブラムシ、ハリガネムシ、線虫類などに注意する	草丈(葉): 20cm 草丈(花): 45cm 株張: 30-35cm	✓		
	ヒューケラ <i>H. micrantha</i>	パレスパー プル	4-7		☀	900-1,100粒/g (SEDまたは PEL)	288穴トレイ	4	原則不要 (パーミキュライト、フリース等で軽く覆土は可)	20-22℃ 光は必要	7-10	18-20℃	6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.2 / 1.2-1.4	不要	N/A	1-5月播種: 10-12週 開花/出荷: 5-7月	6-7月播種: 30-34週 開花/出荷: 3-5月	どちらかといえば乾燥ぎみに管理する。水はけのよい培地を用いる。ピシウム、ボトリティス、ウドンコ病、アブラムシ、ハリガネムシ、線虫類などに注意	草丈(葉): 25cm 草丈(花): 50cm 株張: 35-40cm	✓		

\* プラゲトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アトバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	ハイビスカス <i>H. moscheutos</i>	Flルナ・シリーズ	5-9	✓	☀	100粒/g (SED)	200穴、またはそれ以上の容量	1	パーミキュライトで普通にする	20-24℃ 光はオープン	3-5	20-21℃	サイコセル 300ppmを本葉が現れた段階で散布。高温の条件では、サイコセル 300ppmとBナイン 2500ppmのタンクミックスが有効	3-4	プラグ用培地で覆土。苗は、昼間の平均温度20℃以上。培地は、標準から湿潤の水分条件とする	不要: 5℃以下ではプラグが凍傷にかかるので注意	13cm前後のポット、または15-18cm	昼間: 21-30℃ 夜間: 16-18℃	6.0-6.5 / 1.5-2.0	タンクミックス (Bナイン 2500ppmとサイコセル 750-1000ppm)	長日開花植物(最低でも12時間。14時間以上が望ましい)	3-5月播種: 10-13週 開花/出荷: 6-8月	-	ピンチはしない。培地の水分を多めに維持する。株を乾燥させ過ぎると花芽の発育が停止し、落蕾をまねく。スリップス、アブラムシ、ハダニなどに注意。20℃を下回る条件では生長が止まり、下葉が黄化することがある	草丈: 60-90cm 株張: 60cm	✓	
✓	イペリス <i>I. sempervirens</i>	ホワイトアウト	3-8		☀	340-450粒/g (SED)	288穴トレイ	3-4	する	16-18℃ 光は不要	4-7	16-18℃	不要	7-8	ピンチは不要	必要: 少なくとも8から10週間処理する	1本定植: 10cm前後 1-2本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 5-10℃	5.5-6.2 / 1.2-1.4	遺伝的にコンパクトなので矮化剤は不要	ニュートラル	-	5-8月中旬播種: 26-36週 開花/出荷: 3月-5月	ピンチは不要。十分低温処理することで、株質は強化される。べト病、ウドンコ病に注意する	草丈: 15-20cm 株張: 20-30cm	✓	
✓	ラベンダー <i>Lavandula angustifolia</i>	エレガンス・シリーズ	5-8	✓	☀	700-1,200粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する	18-20℃ 光は不要だが効果はある	4-5	ステージ2: 18-20℃ ステージ3: 15-17℃	Bナイン 2000ppm処理	5-6	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。プラグ生産においては、良好な通気環境を整えて、植物の呼吸を積極的に促す。かん水は午前の早い時間に行い、乾かし気味の状態を維持するが、苗を乾燥させすぎないように注意する。呼吸(光合成)が不活性だと、子葉の表面に黒斑が出ることもあるが、通気を良好にすることでこれら改善される	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5 / (初期は) 2000-3000ppm (その後) 1.4-1.5	Bナイン 2000-3000ppm	パープル: 長日が有効 それ以外: (品種により要求量は異なるか) 長日条件が必要	1-5月播種 パープル: 9-12週 スカイ: 10-13週 その他: 12-15週 開花/出荷: 5月下旬-7月	7-8月播種: 32-36週 開花/出荷: 4-5月	低めの相対湿度、高めの光条件で管理する。培地はなるべく乾燥させるが、ECが高すぎると根に悪影響が現れるので注意する。ボトリティス、根腐病、斑点病、アブラムシ、ダニなどに注意する。出荷時は、培土に水分を含ませて株は乾燥の状態	草丈: 30-35cm 株張: 25-30cm	✓	

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です



グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	ラベンダー <i>Lavandula angustifolia</i>	-ラバンス -ミニブルー	5-8	✓	☀	1,000-1,300粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する	18-20℃ 光は不要だが効果はある	4-5	ステージ2: 18-20℃ ステージ3: 15-17℃	Bナイン 2000ppm 処理	5-6	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。プラグ生産においては、良好な通気環境を整えて、植物の呼吸を活動的に促す。かん水は午前の早い時間に行い、乾かし気味の状態を維持するが、苗を乾燥させすぎないように注意する。呼吸(光合成)が不活性だと、子葉の表面に黒斑が出る可能性があるが、通気を良好にすることでこれら改善される	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.5 / (初期は) 1.1-1.2、(その後) 1.4-1.5	Bナイン 2000-3000ppm	長日条件が必要	3-6月播種: 10-12週 開花/出荷: 5月下旬-7月(春の後半の鉢上げが必要)	7-8月播種: 32-36週 開花/出荷: 4月下旬-5月	低めの相対湿度、高めの光条件で管理する。培地はなるべく乾燥させるが、ECが高すぎると根に悪影響が現れるので注意する。ボトリティス、根腐病、斑点病、アブラムシ、ダニなどに注意する。出荷時は、培土に水分を含ませて株は乾燥の状態	草丈: 25-30cm 株張(ラバンス): 25-30cm 株張(ミニブルー): 30-35cm	✓	
	ラベンダー <i>Lavandula angustifolia</i>	-ヒドコート -ブルースト -レイン	5-8	✓	☀	950粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	4	する	18-20℃ 光は不要だが効果はある	4-5	ステージ2: 18-20℃ ステージ3: 15-17℃	Bナイン 2000ppm 処理	6-7	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。プラグ生産においては、良好な通気環境を整えて、植物の呼吸を活動的に促す。かん水は午前の早い時間に行い、乾かし気味の状態を維持するが、苗を乾燥させすぎないように注意する。呼吸(光合成)が不活性だと、子葉の表面に黒斑が出る可能性があるが、通気を良好にすることでこれら改善される	不要	1本定植: 10.5-13cm 1-3本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5 / (初期は) 1.1-1.2、(その後) 1.4-1.5	Bナイン 2000-3000ppm / スマジック	長日条件が必要	7-8月播種: 32-36週 開花/出荷: 4月下旬-5月		草丈: 30-35cm 株張: 30-35cm	✓		
	ラベンダー <i>Lavandula multifida</i>	スパニッシュ アイズ	5-8	✓	☀	1,200-1,500粒/g (SED)	288穴トレイ	1	軽くする	20-22℃	4-5	19-20℃	Bナインによる反応	5-6		不要	1本定植: 10.5-13cm 1-3本定植: 15-18cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 14-15℃	必要に応じてBナインで処理	長日条件が必要	10-12週		草丈: 40-65cm 株張: 50-75cm	✓			

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	ラベンダー <i>Lavandula stoechas</i>	バンデラパープル	7-10	✓	☀️	900-1,000粒/g (SED)	180穴から288穴トレイ	1	する	18-20℃ 光はオプション シヨナルだが有効。ステージ2へ移す際の発現率が10から15%向上	3-5	7-12℃ 7-15℃ 7-10-14℃	Bナイン 2500ppm (ステージ3)	5-6	通気性など、生産環境の整備を行う。立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-15cm 1-2本定植: 15-18cm	一年生: 18-20℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5/1.0-1.2	遺伝的にコンパクだが、必要な場合は、Bナイン2,500ppm	ニュートラル	11-14週	28-35週(生産は日照度が高く、湿度の低い条件のみ) 冬期は霜除けが必要	深植えは避ける。地に近い枝からボトリティスに感染することがあるので注意する	草丈: 17-23cm 株張: 25-30cm	✓	
✓	ロベリア <i>L. x speciosa</i>	F1スターシップ・シリーズ	6-10	✓	☀️☀️	1,100-1,500粒/g (PEL)	84から288穴トレイ	1粒: 288 4粒: 84	乾燥した条件で播種する場合のみ必要	18-22℃ 発芽生理は好光性	6-10	18-20℃	不要	7-10	培地を乾かせ過ぎないように注意する。播種後、最初の6週は栄養生長を促すため、12時間以下の日長で管理	不要	1本定植: 13cm前後 1-2本定植: 15-18cm 3-4本定植: 23cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 15-18℃ 夜間の降霜で障害が出るので、3℃以下は避ける	5.8-6.6/1.1-1.3	ボンザイ30ppmの散布。またはマジック5ppmの散布	長日開花スカーレット: 13時間(それ以上で開花が早まる) ディープローズ: 13時間以上	12-16週(13時間以上の日長条件で)	乾燥によるストレスは避ける。過湿にならない程度に、やや多い水分で管理する。過湿になると、ナメクジやカタツムリ、ピシウムやフィトフィトラ、根や成長点の病気などの問題が出るので注意する	草丈: 50-60cm 株張: 15-20cm	✓		
✓	ロベリア <i>L. x speciosa</i>	バルカンレッド	6-10	✓	☀️☀️	1,100-1,600粒/g (PEL)	84から288穴トレイ	1粒: 288 4粒: 84	乾燥した条件で播種する場合のみ必要	18-22℃ 発芽生理は好光性	8-10	18-20℃	不要	7-10	培地を乾かせ過ぎないように注意する。栄養生長を促すため、13時間以下の日長で管理する	不要	1本定植: 15-18cm 1-2本定植: 18-20cm 3-4本定植: 23cm	昼間: 18-21℃ 夜間: 15-18℃ 夜間の降霜で障害が出るので、3℃以下は避ける	5.8-6.6/1.1-1.3	ボンザイ30ppmの散布。またはマジック5ppmの散布	長日開花植物。14時間以上で開花は早まる	14-19週(14時間以上の日長条件で)	乾燥によるストレスは避ける。過湿にならない程度に、やや多い水分で管理する。過湿になると、ナメクジやカタツムリ、ピシウムやフィトフィトラ、根や成長点の病気などの問題が出るので注意する	草丈: 60-80cm 株張: 25-35cm	✓		
	ロベリア <i>L. valida</i>	デルフトブルー	7-9	✓	☀️	1,100-1,300粒/g (PEL)	288穴トレイ	4	しない	18-20℃ 光はオプション シヨナル	7-10	18-20℃		8-10		不要	1本定植: 10.5-13cm 1-2本定植: 15-18cm 3本定植: 23cm	昼間: 19-21℃ 夜間: 17-19℃	5.8-6.5/1.0-1.2		長日が有効	3-5月播種: 10-12週 開花/出荷: 6-8月	相対的に低い湿度で管理する。冬期は過湿を嫌う。適度な肥培管理をする	草丈: 25-30cm 株張: 30-40cm	✓		
	モナルダ <i>M. hybrida</i>	ベルガモ	6-8	✓	☀️	2,100-2,400粒/g (SED)	288穴トレイ	4	軽くする	18-20℃ 光は必要	7-10	16-18℃	Bナイン 2000ppm	6-7		不要	1本定植: 10.5-13cm 1-3本定植: 15-18cm 3本定植: 23cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5/1.2-1.4	Bナイン2500ppm	長日が有効	3-5月播種: 10-12週 開花/出荷: 6-8月	水はけのよい培土を用いる。相対的に低い湿度で管理する。ボトリティス、アブラムシ、ウドンコ病などに注意	草丈: 50-60cm 株張: 40-50cm	✓		
	ミオソティス <i>M. sylvatica</i>	モナミブルー	6-8	✓	☀️	1,700-2,100粒/g (SED)	288穴トレイ		不要	20-23℃	3-5	7-12℃ 7-15℃ 7-16-18℃		4		不要	9-10.5cmポット 3本定植: 15cmポット	昼間: 16-21℃ 夜間: 10-13℃	5.6-5.8(6以上は避ける)/1.5-2.0	不要 必要な場合は、Bナイン3500ppm	ニュートラル	カットバック: 5-9週 9-10.5cm: 5-9週	pHの上昇によりクロロシスが発生することがある。対処法についてはGrowerFactsを参照	草丈: 20-25cm 株張: 15-20cm	✓		
	ネペタ <i>N. nervosa</i>	ブルームーン/ピンクキャット	4-7	✓	☀️	2,000-2,400粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する	18-20℃ 光は不要だが効果はある	4-5	16-18℃	Bナイン 2000ppm	5-6	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 12-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5/1.2-1.4	Bナイン2500ppm	長日が有効	3-5月播種: 8-10週 開花/出荷: 5-7月	乾燥ぎみに管理する。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ボトリティス、ペト病、アブラムシなどに注意	草丈: 25-30cm 株張: 25-30cm	✓		
✓	ペンステモン <i>P. hartwegii</i>	チューブラーベルズ・シリーズ	7-10	✓	☀️	2,500-3,300粒/g (SED)	180穴から288穴トレイ	4粒: 288 6粒: 180穴	不要	18-20℃ 光は不要だが効果はある	3-6	7-12℃ 7-15℃ 7-16-18℃	必要に応じてBナイン 2000ppm	6-8	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1-3本定植: 15-18cm 3-5本定植: 18-20cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 10-15℃	5.5-6.5/(初期は)1.1-1.2、(その後)1.4-1.5	Bナイン2500ppm	長日が有効	1-5月播種: 13-16週 開花/出荷: 5-7月	高い照度、低い相対湿度を必要とする。乾燥ぎみに管理する。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。斑点病、ウドンコ病、ナメクジ、線虫などに注意	草丈: 35-40cm 株張: 25-35cm	✓		

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロウワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
	ペンステモン <i>P. heterophyllus</i>	エレクトリックブルー	6-8	✓	☀	1,700粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	1	不要	18-23℃ 光は不要だが効果はある	8-10	ステージ 2: 18-20℃ ステージ 3: 16-18℃	不要	4-5	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要: 少なくとも開花するが、有効にはたらく。5℃で10週間処理すると、無処理の個体よりも揃いがよく早く育つ	9-10.5cmポット	昼間: 19-21℃ 夜間: 17-19℃	5.8-6.5 / 1.0-1.5	不要	ニュートラルだが、一機に、開花の早さや揃いを同期化させるには高い照度が必要	12-13週	-	ポットを十分満たせるよう、また開花揃いの助長のため低温処理に先立って培土の嵩は厚くする。ホワイトフライに注意	草丈: 45cm 株張: 60cm		
✓	ペンステモン <i>P. x mexicali</i>	カリヨ・シリーズ	5-7	✓	☀	1,800-2,400粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	3-4	不要	18-20℃ 光は不要だが効果はある	3-6	ステージ 2: 18-20℃ ステージ 3: 16-18℃	必要に応じてB ナイン 2000 ppm	6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	10.5-13cm、または15cmポット 3本定植: 18-20cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 13-15℃	5.8-6.8 / (初期は) 1.1-1.2、(その後) 1.4-1.5	Bナイン 2500 ppm	ニュートラル	2-5月播種: レッド/パープル: 12-14週 ローズ: 13-14週 開花/出荷: 5-7月	-	高い照度、低い相対湿度が必要条件。乾燥ぎみに管理する。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。斑点病、ウドンコ病、ナメクジ、線虫などに注意	草丈: 20-25cm 株張: 25-30cm	✓	
	ペロフスキア (ロシアンセージ) <i>P. atriplicifolia</i>	タイガ	4-7	✓	☀	1,000-1,200粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	3-4	不要	20-22℃	7-10	18-20℃		7-9	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10-13cm 1本定植: 15-18cm 3本定植: 23cm		6.0-6.5 / 1.2-1.4	Bナイン 2500 ppm	長日条件が必要	2-4月播種: 14-16週 開花/出荷: 7-9月	7-8月播種: 38-42週 開花/出荷: 5-6月	乾燥ぎみに管理する。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。アブラムシ、ホワイトフライ、ハダニなどに注意	草丈: 100-120cm 株張: 30-40cm	✓	
	ポピー <i>Papaver miyabeanaum</i>	ムーンダンス	4-7	✓	☀	7,000-8,000粒/g (SED)	288穴トレイ	2-3	する	16-18℃ 光はオプション	4-6	16-18℃		6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 13cm前後 1本定植: 15-18cm 3本定植: 23cm	昼間: 18-22℃ 夜間: 13-15℃	5.8-6.8 / 1.1-1.3	不要	長日有効	2-4月播種: 10-12週 開花/出荷: 5-7月	-	水はけのよい培地を用いる。肥料は適度に与える。日あたり、そして通気の良い条件をつくる。ポトリティス、ベト病、アブラムシに注意する	草丈: 15-20cm 株張: 13-18cm	✓	
	ポピー (アイランドポピー) <i>Papaver nudicaule</i>	F1 シャンパン・シリーズ	4-8	✓	☀	5,000粒/g (SED/PRM)	288穴、またはそれ以上の容量	1	軽くする	18-20℃ 光は不要だが効果はある	7-12	16-18℃		4-5	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 9-10.5cm 3本定植: 15cm前後	昼間: 10-13℃ 夜間: 4-7℃	5.5-6.0 / 1.2-1.4	ニュートラル	2-4月播種: 10.5cm:5-6週 15cm:6-7週 開花/出荷: 6-8月	-	pHが6.1を超えると、鉄欠乏によるクロロシスが発生するので注意する。適度な肥料と水はけの良い土を用いる	草丈: 38cm 株張: 15cm	✓		
	プリムラ <i>P. capitata</i>	ノバーナ・ディーブブルー	4-7	✓	☀	30,000粒/g (SED)	288穴トレイ	4	不要	16-18℃ 光は不要	8-10	16-18℃	不要	8-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	10.5-13cmポット	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.5-6.0 / 1.1-1.3	不要	長日有効	3-5月播種: 10-12週 開花/出荷: 6-8月	-	水はけのよい培地を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ポトリティス、ピシウム、リソクトニア、アブラムシなどに注意する	草丈: 20-25cm 株張: 15-20cm	✓	
	ルドベキア <i>R. fulgida var. sullivanti</i>	ゴールドスターム	3-9	✓	☀	1,800-2,000粒/g (SED)	288穴	2	する(バークミキュライトで薄めに覆う)	20-22℃ 光は必要	5-7	18-20℃		6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 15-18cm 3本定植: 18-20cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.5 / 1.3-1.6	ボンザイ 20-30 ppm 散布	長日条件が必要	1-5月播種: 20-24週 開花/出荷: 7-9月	-	肥料を多く必要とする。生産期間の短縮には、長日条件あるいは暗期中断を行う。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ポトリティス、ベト病に注意。日あたり、そして通気の良い条件をつくる	草丈: 40-60cm 株張: 35-45cm	✓	
	ルドベキア <i>R. hirta</i>	アイリッシュアイズ	7-9	4		1,000-1,200粒/g (SED)	288穴または180穴	2-3	軽くする	20-22℃	4-7	19-20℃	Bナインによく反応する	6-7	発芽には光が必要	不要	1本定植: 10-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 15-16℃	5.8-6.5 / 1.2-1.5	必要に応じてBナイン 2500-4000 ppm	12-14		ウドンコ病に注意する	草丈: 60-90cm 株張: 35-45cm			
	ルドベキア <i>R. hirta</i>	モレノ	7-9	4		100-125粒/g (SED)	288穴または180穴	2-3	軽くする	20-22℃	4-7	19-20℃	Bナインによく反応する	6-7	発芽には光が必要	不要	1本定植: 10-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 15-16℃	5.8-6.5 / 1.2-1.5	必要に応じてBナイン 2500-4000 ppm	10-12		ウドンコ病に注意する	草丈: 30-50cm 株張: 25-30cm			
	サルビア <i>S. lyrata</i>	パープルボルケーノ	6-8	✓	☀	500-600粒/g (SED)	288穴トレイ	3-4	軽くする	20-22℃ 光は必要	5-7	18-20℃	不要	6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。ステージ1以後は乾燥させて管理する	不要	1本定植: 13cm前後 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.2 / 1.2-1.4	不要	ニュートラル	3-6月播種: 8-10週 開花/出荷: 4月下旬-7月	8-9月播種: 32-38週 開花/出荷: 3-5月	水はけのよい培地を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ポトリティス、ベト病、ハダニ、アブラムシなどに注意	草丈: 20-25cm 株張: 15-20cm	✓	✓

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です



グロワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度、光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット、コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点、病気、アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
✓	サルビア <i>S. nemorosa</i>	ニューディメンション・シリーズ	4-8	✓	☀️	ブルー: 1,000-1,100粒/g Roseローズ: 600-750粒/g (COT)	288穴トレイ	4	軽くする	20-22℃ 光はオプショナル	3-4	18-20℃	不要	5-6	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-22℃ 夜間: 10-15℃	5.5-6.2 / (初期は) 0.8-1.0、(その後) 1.2-1.3	Bナイン 2500 ppm (施設栽培時)	長日条件が必要	ローズ: 8-10週 ブルー: 9-11週 開花/出荷: 5-7月	8-9月播種: 32-38週 開花/出荷: 4-5月	生殖生長時には、高pHそして窒素不足による葉の黄化を避ける(pHの調整は、1%硫化マグネシウム溶液を散布)。ハダニ、リゾクトニア、根腐病に注意。移植後は水分を与え、リゾクトニア防止のため薬剤散布を行う	草丈: 20-25cm 株張: 15-20cm	✓	✓
	サルビア <i>S. Patens</i>	パティオ・シリーズ	8-10	✓	☀️	95-125粒/g (SED)	288穴トレイ	1	不要	18-20℃ 光は必要	4-7	18-20℃	Bナイン 1500 ppm	5-6		不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 14-16℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	Bナイン 2000 ppm	長日が有効	4-5月播種: 7-11週 開花/出荷: 5月-7月		乾燥気味に管理する。水はけのよい培地を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ボトリティス、ベト病、ハダニ、アブラムシなどに注意。強い光(照度)と通気の良い条件が望ましい	草丈: 30-35cm 株張: 20-30cm	✓	
	サルビア <i>S. roemeriana</i>	ホットトランペット	7-10	✓	☀️	400-500粒/g (SED)	288穴トレイ	3-4	軽くする	18-20℃ 光は必要	5-7	18-20℃	Bナイン 2000 ppm	6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。ステージ1以後は乾燥させて管理する	不要	1本定植: 15cm前後 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.2 / 1.2-1.4	Bナイン 2000 ppm	ニュートラル	4-5月播種: 8-12週 開花/出荷: 5-7月	-	水はけのよい培地を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ボトリティス、ベト病、アブラムシ、ハダニに注意する。日あたり、そして通気の良い条件をつくる	草丈: 20-25cm 株張: 15-20cm	✓	
	サクシフラガ (サクシフリジ) <i>S. x arendsii</i>	パープルローブ	4-7	✓	☀️	19,000-21,100粒/g (SED)	288穴トレイ	4-6	軽くする	18-20℃ 光は不要	7-11	18-20℃	不要	9-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	必要: 5℃で12週間、処理する	9-13cm	昼間: 10-12℃ 夜間: 7-10℃	5.8-6.2 / 1.0-1.2	ニュートラル	-	6-7月播種: 40-44週 開花/出荷: 4-6月		水はけのよい培土を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ボトリティスやハダニに注意する	草丈: 8-13cm 株張: 10-15cm	✓	
	サクシフラガ (サクシフリジ) <i>S. x arendsii</i>	ロココレッド	4-7		☀️	1,400-1,600粒/g (SED)	288穴トレイ	2	軽くする	18-20℃ 光は不要	7-11	18-20℃	不要	9-10	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	必要: 5℃で12週間、処理する	10.5-13cm	昼間: 15-18℃ 夜間: 4-10℃	5.8-6.2 / 1.0-1.2	ニュートラル	-	6月中旬-8月播種: 28-36週 開花/出荷: 4-5月		水はけのよい培土を用いる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。水分管理はやや乾燥から平均的なレベルを維持。ボトリティスやハダニに注意する	草丈: 7-11cm 株張: 9-13cm	✓	
	スカビオサ <i>S. col.</i>	-ブルーノート -ピンクダイアモンド	5-9	✓	☀️🌑	400-700粒/g (SED)	288穴トレイ	2-3	する	18-20℃ 光は不要	8-10	18-20℃	不要	6-8	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨	不要	1本定植: 10.5-13cm 3本定植: 15-18cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.2 / (初期は) 0.8-1.0、(その後) 1.2-1.3	不要	ニュートラル	1-4月播種: 12-14週 開花/出荷: 5-7月	8-9月播種: 30-36週 開花/出荷: 4-5月	高い照度、低い相対湿度の条件を作り、乾燥させながら育てる。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。ボトリティス、ベト病、根腐病、ハダニ、アブラムシなどに注意する。春先は16から18℃で6週間促成する	草丈: 20-25cm 株張: 20-25cm	✓	
	シレネ <i>S. alpestris</i>	スターリードリームズ	5-8	✓	☀️🌑	6,000-7,000粒/g (SED)	288穴トレイ	3-4	不要	20-22℃ 光は不要	5-7	18-20℃	Bナイン 2000 ppm	5-6		不要	10.5-13cmポット	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2	Bナイン 2500 ppm	長日条件が必要	2-4月播種: 10-12週 開花/出荷: 5-7月	-	適度な肥培と、均等なかん水が望ましい。マグネシウムおよび鉄欠乏を避ける。アブラムシ、ハダニ、ナメクジ、カタツムリなどに注意	草丈: 15-20cm 株張: 20-25cm	✓	
	スタキス <i>S. byzantina</i>		5-7	✓	☀️🌑	500-550粒/g (SED)	288穴、またはそれ以上の容量	3-4	する	20-22℃ 光は不要	3-6	18-20℃		4-6	(播種の前に)5℃で2週おくと、発芽の動きがよくなる	不要	1本定植: 10.5-13cm 2-3本定植: 15cm	昼間: 16-18℃ 夜間: 12-16℃	5.8-6.5 / 1.0-1.2			12-3月播種: 10-12週 出荷: 3-6月		ピンチによって、よりコンパクトな株姿とすることが可能。S. byzantina種は促成向きではない	草丈: 40-50cm (グランドカバー向き)		
	パーバスカム <i>V. x hybrida</i>	F1 サザンチャーム	5-8	✓	☀️	1,000粒/g (SED)	200穴、またはそれ以上の容量	1	する	18-20℃ 光は必要	3-7	18-20℃		4-5		不要	15-18cmのポット、コンテナ	昼間: 18-19℃ 夜間: 17-18℃	5.8-6.5 / 1.1-1.3		ニュートラル	2-4月播種: 12-13週 開花/出荷: 5-7月	-	光条件を強くすることで、開花揃いが向上する	草丈: 60-75cm 株張: 30-45cm		
	バーベナ <i>V. bonariensis</i>	ブエノスアイレス	7-9	✓	☀️	3,500-4,500粒/g (SED)	288穴トレイ	4	する	20-22℃ 光は不要	7-10	18-20℃		6-7	立枯れ防止のため殺菌剤の散布を推奨。ステージ1以後は乾燥させて管理する	不要	1本定植: 13cm前後 (未開花出荷)	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.5-6.2 / 1.3-1.5		長日が有効	2-4月播種: 16-18週 開花/出荷: 5-8月	-	乾燥と強い光条件の下で管理する。窒素を与えすぎない。またマグネシウム、鉄欠乏を避ける。スリップス、ウドンコ病、アブラムシなどに注意	草丈: 100-150cm 株張: 30-40cm	✓	

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グローワー・ファクト	植物名	品種/シリーズ名	USDA耐寒指標	初年開花特性	日照・配置	種子のgあたり数量と形態	推奨されるトレイサイズ*	1穴あたりの播種粒数	覆土	発芽条件(温度,光等)	発芽日数	ステージ2,3の育苗温度	育苗時の矮化剤処理	プラグ育苗週数	育苗時の要点	バーナリゼーション(低温処理)	推奨されるポット,コンテナサイズ	生育適温	培地のpH/EC	矮化剤の濃度	日長条件による反応	一年生生産の到花/生産期間(移植後の週数)	越冬作型による到花/生産期間(移植後の週数)	栽培期間中の要点,病気,アドバイスなど	成熟時の草丈・株張	耐暑性の有無	低温生長
	バーベナ <i>V. rigida</i>	サントス	7a-11	✓		1,200粒/g (PRM)	288穴トレイ	4	する	20-22℃ 光は不要	7-10	18-20℃		6-7	立枯れ防除のため殺菌剤の散布を推奨。ステージ1以後は乾燥させて管理する	No	1本定植: 13cm前後 1-2本定植: 15-18cm 2-3本定植: 18-20cm	昼間: 18-20℃ 夜間: 16-18℃	5.5-6.2 / 1.3-1.5	Bナイン 2000- 2500 ppm	長日が有効	11-13		乾燥と強い光条件の下で管理する。窒素を与えすぎない。またマグネシウム、鉄欠乏を避ける。スリップス、ウドンコ病、アブラムシなどに注意	草丈: 30cm 株張: 最大 120cm	✓	
	ペロニカ <i>V. x hybrida</i>	F1 ブルーブーケ	5-8	✓	☀️	900粒/g (PEL)	288穴、またはそれ以上の容量	1	する	18-24℃ 光は不要	6-9	18-20℃		5-6		不要	15-18cmのポット,コンテナ	昼間: 18℃ 夜間: 13-18℃	5.5-6.2 / 1.3-1.5			2-4月播種: 14-16週 開花/出荷: 5-8月	-		草丈: 30cm 株張: 30cm		

\* プラグトレイの各セル(穴)の直径は概ね右記のとおり: 128穴 - 3.25cm, 288穴 - 2cm, 406穴 - 1.75cm

\*\* 上記栽培情報の到花週数や生育期間は、原則北西ヨーロッパの気候条件による測定です

グロウ ワーフ アクト	植物名	品種/シリーズ名	日照・ 配置	種子粒数 /グラム	種子の 形態	推奨されるトレ イのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育 苗週数	定植密度	生育適温 (昼間)	生育適温 (夜間)	プラグ定植から 収穫までの週数	栽培の要点	草丈	その他のアドバイス
	アゲラタム <i>A. houstonianum</i>	エベレスト ブルー	☀️	500-600粒/ グラム	PEL	406穴、また はそれ以上 の容量	不要	20-21°C	3-4	4-5	摘芯による栽培で は、平方メートル あたり夏は32株、 秋は24株の定植 を目安とする。摘 芯しない場合は、 平方メートルあた り夏は64株の定 植を目安とする。	18-24°C	13-16°C	12-15	施設栽培用切花品種。8から12°Cの低温 で、理想的な長さのステムが促進される	65 cm	収穫後、切花は輸送に先立って一晩水に漬けてお く。それによって、店頭納品後の花持ちがよくなる
✓	アネモネ <i>A. coronaria</i>	モナリザ™ シリーズ	☀️	1,850粒/ グラム	SED	406穴、また はそれ以上 の容量	する	16-18°C	10-14	8	22-44本/m <sup>2</sup>	16-18°C	13°C	12	施設栽培用切花品種。低温条件(8-12°C)で丈 が長く良好に育つ	45 cm	北半球では、10月から3月に収穫、出荷するた めには3月から6月の播種、そして育苗生産に入る 作型が望ましい。一方、南半球では、4月から10 月に収穫、出荷するためには9月から12月に播 種される
	アスター <i>Callistephus chinensis</i>	メテオ・シリーズ	☀️	420粒/グ ラム	SED	200穴トレイ	する	21°C	4-8	4-5	78本/m <sup>2</sup>	16-24°C	10-16°C	13-16	施設栽培向き品種。アスターは土壌消 毒が必要。1層のネット掛けを行う。肥料 は、125から150ppmの濃度で硝酸カルシ ウムと硝酸カリウムを交互に与える。花芽 がきてからは窒素分を落とし、カリウムを 含む肥料を増やす	80-100 cm	生産期間は、長日(LD)と短日(SD)の割合に影響 を受ける。短日の条件で、長日処理の比率を高め るとステムの長さを増長し、収穫までの期間の短縮 につながる。長日(LD)とは16時間の光条件を示 す。30分あたり7.5分の間欠照明が有効
✓	カンパニュラ <i>C. medium</i>	カンパーナ・ シリーズ	☀️	普通種子: 3,600-4,800 粒/グラム ペレット: 3,700-4,300 粒/グラム	SED/ PEL	288穴、また はそれ以上 の容量	不要	20-22°C	4-5	7-8	64-80本/m <sup>2</sup>	16-21°C	12-15°C	10-14	施設栽培向きのカンパニュラで、量的長日 植物。しっかりと栄養生長させて丈を長く 育てるには、播種の2週間後から6週間、11時 間の短日条件に置く。冬の生産であれば、 定植後6週で長日条件による管理が必要。 キク用の電照で午後10時から午前2時ま で暗期中断する	75-85 cm	培地の水分レベルは中庸を維持する。ステムの 丈が長くなるよう、十分な水分と肥料を与えること が望ましい。乾燥の条件が続くと、ステムが育たな いうちに花が早く上がることもある。ただし過湿 にはしない。過湿条件では茎、根ともに軟らかくな り、株が曲がることもあるので注意
✓	セロシヤ <i>C. cristata</i>	ボンベイ・ シリーズ	☀️	普通種子: 750-1,000 粒/グラム ペレット: 200-250 粒/グラム フィルム: 700-950 粒/グラム	SED/ PEL/ FCS	288穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	20-22°C	3-4	2-3	64-80本/m <sup>2</sup>	開花の前: 18-24°C 開花した後: 16°C	開花の前: 17-18°C 開花した後: 15°C	10-14	施設栽培向きセロシヤで、量的短日植 物。花芽は短日条件で開く。ボンベイ・ シリーズのステムが十分な長さになるた めの最適な日長は12から13時間	70-100 cm	セロシヤは直根性で、根に障害が現れやすいの で注意する。根が傷むと、着蕾が極端に早かった り、奇形花の発生、また生長や開花揃いに影響が 出る。したがって、苗の定植は必ず根詰まりする前 に完了させる。株ができる前に花が来ないよう、特 に定植後の最初の2週は水切れさせないよう、間 断のない給水管理を行うことが重要
✓	セロシヤ <i>C. cristata</i>  ※この品種はKieft-Pro- Seedsブランドとして供 給されます	セルウェイ・ シリーズ	☀️	ペレット: 90-125 粒/グラム フィルム: 850-1,250 粒/グラム	PEL/ FCS	288穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	20-22°C	3-4	2-3	64-80本/m <sup>2</sup>	開花の前: 18-24°C 開花した後: 16°C	開花の前: 17-18°C 開花した後: 15°C	10-14	施設栽培向きセロシヤで、量的短日植 物。花芽は短日条件で開く。ボンベイ・ シリーズのステムが十分な長さになるた めの最適な日長は12から13時間	100-120cm	セロシヤは直根性で、根に障害が現れやすいの で注意する。根が傷むと、着蕾が極端に早かった り、奇形花の発生、また生長や開花揃いに影響が 出る。したがって、苗の定植は必ず根詰まりする前 に完了させる。株ができる前に花が来ないよう、特 に定植後の最初の2週は水切れさせないよう、間 断のない給水管理を行うことが重要
✓	セロシヤ <i>C. plumosa</i>	サンデイ・ シリーズ	☀️	普通種子: 1,500-2,400 粒/グラム フィルム: 1,550-2,100 粒/グラム	SED/ FCS	288穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	20-22°C	3-4	2-3	64-80本/m <sup>2</sup>	開花の前: 18-24°C 開花した後: 16°C	開花の前: 17-18°C 開花した後: 15°C	12-16	施設栽培向きセロシヤで、量的短日植 物。花芽は短日条件で開く。サンデイ・ シリーズのステムが十分な長さになるた めの最適な日長は12から13時間	70-100 cm	セロシヤは直根性で、根に障害が現れやすいの で注意する。根が傷むと、着蕾が極端に早かった り、奇形花の発生、また生長や開花揃いに影響が 出る。したがって、苗の定植は必ず根詰まりする前 に完了させる。株ができる前に花が来ないよう、特 に定植後の最初の2週は水切れさせないよう、間 断のない給水管理を行うことが重要
✓	デルフィニウム <i>D. elatum</i>  ※この品種はKieft-Pro- Seedsブランドとして供 給されます	F1 ガーディアン・ シリーズ	☀️	325粒/グ ラム	SED	200穴トレイ	する	18-21°C	5-6	5-6	22-44本/m <sup>2</sup>	16-21°C	10-16°C	11-16 (右の条件を 参照)	秋期: 施設栽培 13週/露地栽培 16週 春期: 施設栽培 11週/露地栽培 13週 収穫後はエチレン生成抑制剤で処理する	75-100 cm	温暖な土地であれば、8月から10月頃の定植で、 収穫、出荷は2月から5月初旬。秋に定植すれば開 花は春に(2月から)、また春の定植であれば開花 は初夏となる
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1 アマゾン・ シリーズ	☀️	450-500粒/ グラム	PEL	406穴トレイ	する	18-20°C	3-5	4-5	30-40本/m <sup>2</sup> ; (ピンチをかける 場合は15本/m <sup>2</sup> )	16-22°C	10-16°C	11-22 (右の条件を 参照)	初夏-夏期: 施設栽培 11-14週/露地栽培 11-14週 初秋-冬期: 施設栽培 12-18週/露地栽培 18-23週	45-90 cm	ごく少ない割合でオフタイプ個体が発生し、播種 から4、5週で観察される。それらは除去する。夜温 が7°Cの条件でも耐える品種。霜にあたる前は花は 傷むので注意(株そのものは霜に耐性がある)
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus interspecific</i>	F1 ブーケ・ シリーズ	☀️	300粒/グ ラム	PEL	406穴トレイ	する	18-20°C	3-5	4-5	30-40本/m <sup>2</sup>	16-22°C	10-16°C	8-18 (右の条件を 参照)	初夏-夏期: 施設栽培 8-9週/露地栽培 8-9週 初秋-冬期: 施設栽培 9-13週/露地栽培 15-18週	45-60 cm	耐寒性のある宿根品種
✓	ダイアンサス <i>D. barbatus</i>	F1 スイート・ シリーズ	☀️	250-340粒/ グラム	PEL	406穴トレイ	する	18-20°C	3-5	4-5	42-64本/m <sup>2</sup>	16-22°C	10-16°C	夏/秋期: 10 冬/春期: 11-15	初夏-夏期: 施設栽培 8-9週/露地栽培 8-9週 初秋-冬期: 施設栽培 9-13週/露地栽培 15-18週 施設、露地共に栽培可能な品種。開花の誘 因に低温処理は不要	45-90 cm	秋の早い時期に定植(施設栽培)すると丈がより 長く育つ



グロウワー・フアクト	植物名	品種/シリーズ名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	定植密度	生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	プラグ定植から収穫までの週数	栽培の要点	草丈	その他のアドバイス
✓	ゴンフレナ <i>G. sp.</i>	ファイアワークス	☀	500粒/グラム	COT	406穴、またはそれ以上の容量	する	20-24℃	2-3	5-6	8本/m <sup>2</sup>	18-24℃	18-25℃	8-9		45 cm	
	ゴンフレナ <i>G. haageana</i> ※この品種はKieft-Pro-Seedsブランドとして供給されます	QIS(キッス)・シリーズ	☀	200-300粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	20-24℃	2-3	5-6	16本/m <sup>2</sup>	18-24℃	18-25℃	10-12		60-70 cm	一番花を落とした方が株あたりの歩留は向上する
	ヘリアンサス <i>H. annuus</i> (Sunflower)	ジュア・シリーズ	☀	17-20粒/グラム	SED	200穴トレイ(または直き)	する	20-24℃	プラグ育苗の場合は2,3日。直播きの場合は3から5日	2-2.5	42から52本/m <sup>2</sup>	18-29℃	10-18℃	8.5-10.5 栽培条件しだい で異なる	長日、短日両方の条件でも生産可能な品種だが、長日の方が高いクオリティを得られる	90-150 cm 栽培条件し だいで異 なる	
	ヘリアンサス <i>H. annuus</i> (Sunflower)	ブラド・シリーズ	☀	40粒/グラム	SED	200穴トレイ(または直き)	する	20-24℃	3-5	2-3	8本/m <sup>2</sup>	18-29℃	10-18℃	10-12 (播種からの 週数)	標高が高く(海拔1,500以上)、紫外線量の多い土地ではブラドレッドの花弁は黒色に近くなる。湿度が乾燥し、日照の強い条件では丈が短くなる	120-170cm	本葉が5段階のときに主軸をピンチし、ひと株あたり7から10個の花をつけた頃に収穫する。収穫までは播種から10ないし12週
	一年生リモニウム (スターティス) <i>Limonium sinuatum</i>  ※この品種はKieft-Pro-Seedsブランドとして供給されます	QIS(キッス)・シリーズ	☀	200-300粒/グラム	SED	200穴、またはそれ以上の容量	する	21℃	3-8	4-5	10から20本/m <sup>2</sup>	13-16℃	10-13℃	18-22 (低温処理した 場合: 12-13)	発芽の翌週から、3から5週間10から13℃の条件で低温処理すると開花が早まり、また株揃いも向上する	75-90 cm	生花またはプリザードフラワー(ドライフラワー)としても人気のシリーズ。ステムは堅固でネットは不要
✓	リシアンサス <i>Eustoma grandiflorum</i>	F1 フレア・シリーズ(ダブル咲品種) F1 ABC・シリーズ(ダブル咲品種) F1ラグナ・シリーズ(シングル咲品種)	☀	1,000粒/グラム	PEL	400穴前後のトレイを使用	不要	20-22℃	8-12	8-10	夏期: 84本/m <sup>2</sup> 冬期: 64本/m <sup>2</sup>	20-24℃	16-18℃	冬期: 14-18 春/秋期: 12-14 夏期: 10-12	雨の降らない土地では、(露地などの)日照条件のよい場所へ定植すると、切花リシアンサスのステムは施設で栽培するよりも短い	75-115 cm	フレアは、八重咲スプレータイプの新しいシリーズ。それぞれのステムのトップに多くの花が付き、開花の品種間差も少ないシリーズ。フレアは開花の早晚ではグループ2(やや早生)に属する品種
✓	マトリカリア <i>Tanacetum parthenium</i>	マジック・シリーズ ベグモ・シリーズ	☀	650粒/グラム	PEL	200穴トレイ	不要	21-22℃	4-6	4-5	夏期: 80本/m <sup>2</sup> 冬期: 70本/m <sup>2</sup>	冬期: 13-14℃ 夏期: 22-24℃	冬期: 13-14℃ 夏期: 16-18℃	冬期: 14-16 春/秋期: 10-14 夏期: 7-10	開花には16時間の光条件が必要。電照補光は延長(中断なし)や間欠の方法をとる。マトリカリアはエチレンにさほど過敏ではない	70-90 cm	
✓	ストック/マティオラ (極早生・切花品種) <i>M. incana</i>	カツツ・シリーズ	☀	540-640粒/グラム	SED	406穴トレイ	する	20-22℃	3-4	4	126本/m <sup>2</sup>	16-24℃	7-13℃	8-13	生産期間は日長時間と光の強さしだいで異なる。一般的に、13時間以上の日長で定植から8週かかる。短日条件では、温度にも拠るが移植から最長で13週を要する	80 cm	
	ストック/マティオラ (切花品種) <i>M. incana</i>	(トラディショナル)アップライト品種	☀	550-700粒/グラム	SED	露地へ直播き	する	18-21℃	14-21	N/A	1kg/4,000m <sup>2</sup>	13-18℃	13-16℃	20-22 (播種からの 週数)	分枝の少ない主軸が育つ、非鑑別タイプの品種。1層のネット掛けを行う。直播きも可能	60-75 cm	理想的なステムの長さを得るためには、涼しい夜温環境を整える。温度が高いと株の生育や花穂の発育が妨げられる
	ストック/マティオラ (切花施設栽培品種/鑑別可能品種) <i>M. incana</i>	-アイダ・シリーズ -カルメン・シリーズ -フィガロ・シリーズ -オペラ・シリーズ	☀	550-700粒/グラム	SED	200穴トレイ	する	15℃	5	5-6	64本/m <sup>2</sup>	10-16℃	10-16℃	冬期: 11-12 春期: 8-9 秋期: 4-7 夏期: 3-5	八重花の個体は子葉が完全に展開した時点で、5℃の温度条件で3から5日の間で、タイミングを見ながら鑑別が可能。八重とシングルでは子葉の葉色が異なる。八重は薄いグリーンで、シングルはダークグリーン	80 cm	低温処理から出した後では、八重花個体の苗は1,2日の間は黄色に近い薄緑色で識別される(シングルの苗は固く色も濃いグリーン)。このストックの低温処理による鑑別方法は、生産の過程で1回のみ可能である
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	アポロ・シリーズ	☀	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のもとや露地であれば密植可能)	16-24℃	11-14℃	8-18		100-150cm	グループ2,3に属するシリーズ。オープンフェースのユニークな花型で、典型的な春、秋に収穫される作型向けの品種
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	ケール・シリーズ	☀	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のもとや露地であれば密植可能)	13-21℃	7-13℃	8-18		100-150cm	グループ1, また2の初期に属する。発芽から育苗、また花穂の形状、到花期間において高い同期性が期待できるシリーズ
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	メリーランド・シリーズ	☀	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のもとや露地であれば密植可能)	13-21℃	7-13℃	8-18	とくにダークオレンジでは、発芽時に光があることで最良の発芽結果を得ることが可能	100-150cm	グループ1,2に属する
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	-モナコ・シリーズ -パクシア・シリーズ	☀	6,350粒/グラム	SED	512穴、またはそれ以上の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のもとや露地であれば密植可能)	16-24℃	11-14℃	8-18		100-150cm	グループ2,3に属する。グループ3,4タイプ(夏収穫)と1,2タイプ(秋/冬収穫)の中間期の収穫が可能な品種。温度が多少高い秋の条件や温暖な冬の生産条件などにもよく適合する。一年を通じて適度な温度の土地では、周年栽培も可能な品種である

グロー ワーフ アクト	植物名	品種/シリーズ名	日照・ 配置	種子粒数/ グラム	種子の 形態	推奨されるトレ イのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育 苗週数	定植密度	生育適温 (昼間)	生育適温 (夜間)	プラグ定植から 収穫までの週数	栽培の要点	草丈	その他のアドバイス
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	-ポトマック・ シリーズ -アーリーポトマ ック・シリーズ -アクシオム・ シリーズ	☀	6,350粒/ グラム	SED	512穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のも とや露地であれば 密植可能)	21-30℃	ポトマック: 16℃ アーリーポト マック: 13-16℃	8-18	アップルブロッサムとダークオレンジでは、 発芽時に光があることでより良好な発芽結 果が得られる	100-150cm	グループ3, 4に属する。強い日照、長日、高い温 度条件で生産される典型的なシリーズ(品種)。電 照補光による促成処理で周年栽培も可能な品 種である
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	パープルツイスト	☀	6,350粒/ グラム	SED	512穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のも とや露地であれば 密植可能)	13-21℃	10-13℃	8-18	ユニークなパープルとホワイトストライプ のパターンを有する品種。ストライプのパ ターンは生育環境によって異なる。温度の 高い条件ではホワイトがより優勢となる一 方、低温あるいは露地の条件ではパープル の占有度がより広くなる	100-150cm	グループ2に属する、ユニークなスタンドアロン 品種。短日、10から13℃の夜温と適度な光条件の もとで生産が可能。メリーランドの作型に合わせ た生産計画が可能
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	レッドデリラ	☀	6,350粒/ グラム	SED	512穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	18-20℃	4-5	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のも とや露地であれば 密植可能)	13-21℃	10-13℃	8-18	レッドデリラは、レッドとホワイトの筒状花 をもったユニークな花色品種	100-150cm	グループ2に属する、ユニークなスタンドアロン 品種。短日、10から13℃の夜温と適度な光条件の もとで生産が可能。メリーランドの作型に合わせ た生産計画が可能
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1促成切花品種) <i>Antirrhinum majus</i>	トランベット・ シリーズ	☀	6,350粒/ グラム	SED	512穴、また はそれ以上 の容量	軽く する	18-20℃	4-6	4-5	64-106本/m <sup>2</sup> (高い光条件のも とや露地であれば 密植可能)	16-24℃	7-13℃	8-19		100-150cm	
	キンギョソウ /スナップドラゴン (F1矮性品種) <i>Antirrhinum majus</i>	ロケット・シリーズ	☀	6,350粒/ グラム	SED	406穴トレイ	軽く する	18-20℃	4-8	5-6	30-40本/m <sup>2</sup>	18-26℃	13-16℃	13-16	ブロンズ、ゴールド、ピンク、レッド、ロー ズシェードでは、発芽時に光があることでよ り良好な発芽結果が得られる	75-90 cm	露地栽培の切花として、また花壇用としても使え る汎用性の高いシリーズ。性質としてはグループ 3, 4に属し、夏咲の花壇用品種として最適
	ユウギリソウ (切花品種) <i>T. caeruleum</i>	-レークフォレスト -レークミシガン -レークルイズ 各シリーズ	☀☀	750粒/グ ラム	PEL	200穴トレイ	不要	21℃	7-10	7-9	64-84本/m <sup>2</sup>	16-20℃	16℃	10-18	ユウギリソウは、早く開花させるには16時 間の日長条件が必要	75-105 cm	冬から早春にかけて開花させる場合は、秋から初 冬にかけて定植しなければならない

グローワー・ファクト	植物名	シリーズ/品種名	日照・配置	種子粒数/グラム	種子の形態	推奨されるトレイのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育苗週数	奨励される鉢・コンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス		
												生育適温(昼間)	生育適温(夜間)	9cmポット、カットバック等	10-10.5cmポット	その他のコンテナなど								
	バジル <i>Ocimum basilicum</i>	マルチベレット シンプリーハーブズ	☀	26粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-23°C	2-4	3-4	9-10.5cmポット	17-24°C	10-16°C	3-4	3-4	4-5	出荷鉢への直播きも可能	60-75 cm	30-40 cm					
	バジル <i>Ocimum basilicum</i>	マルチベレット トライバジル	☀	26粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-23°C	2-4	3-4	9-10.5cmポット	17-24°C	10-16°C	3-4	3-4	4-5	出荷鉢への直播きも可能	60-75 cm	30-40 cm					
	バジル <i>Ocimum basilicum</i>	スイートダニー	☀	500粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	20-23°C	2-4	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	17-24°C	10-16°C	2-3 (出荷可能な段階)	2-3 (出荷可能な段階)	-	9cm以上のポットであれば、出荷鉢への直播きも可能	45-60 cm	45-60 cm					
	バジル <i>Ocimum basilicum</i>	ドルチェプレスカ	☀	550-600粒/グラム	SED	406穴、またはそれ以上の容量	する	20-23°C	2-4	4-5	カットバック、9-10.5cmポット	17-24°C	10-16°C	2-3 (出荷可能な段階)	2-3 (出荷可能な段階)	-	9cm以上のポットであれば、出荷鉢への直播きも可能	30-35 cm	25-30 cm					
	キューカンバー (キューリ) <i>Cucumis sativus</i>	パティオスナッカー	☀	33粒/グラム	SED	最終鉢への直播き	する	21-24°C	2-4		カットバック、9-15cmポット	18-21°C	16-18°C	2-4	2-4	6-8(プランター等)	出荷鉢への直播きも可能		90-150 cm				トレリスに蔓を這わせたプランター植えが最適	
	ディル(ジル) <i>Anethum graveolens</i>	ファーンリーフ	☀	485粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	する	16°C	5-8	4	9-10.5cmポット	16-18°C	13-14°C	-	4-5	-		30-38 cm	25-30 cm				(開花か)晩生の品種なので、観葉や摘み取りの期間を長く楽しめる	
	ディル(ジル) <i>Anethum graveolens</i>	マルチベレット シンプリーハーブズ ファーンリーフ	☀	27粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	16°C	5-8	3-4	9-10.5cmポット	16-18°C	13-16°C	3-4	3-4	-	出荷鉢への直播きも可能	30-35 cm	25-40 cm					
	エッグプラント <i>Solanum melongena</i>	パティオベビー	☀	160-259粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	24-32°C	5-8	4-5	カットバック、10-11cmポット、または15-18cmポット、30cmコンテナなど	21-29°C	18-21°C	4-5	4-5	5-7		40-50 cm	45-55 cm				サマーピクニックミックスは、以前のエンドレスサマーの改名	
✓	マルチスピーシーズ (マルチベレット) シンプリーサラダ™ 下記野菜品目を含む: <i>Lactuca sativa</i> , <i>Brassica spp.</i> , <i>Eruca sativa</i> , <i>Cichorium spp.</i> and <i>Chrysanthemum coronarium</i>	-グローバルゲルメミックス -アルプレスコミックス -シティガーデンミックス -サマーピクニックミックス -ワンダーウォックミックス	☀☀	30-70 (MSP)粒/グラム	MSP	105または128穴以上の容量	軽くする	18-21°C	2-3	2-3	9-10.5cmポット、または15cmポット、カラーボール等	13-21°C	10-16°C	-	2-4	2-6		30 cm	30 cm					
	マルチスピーシーズ (マルチベレット) シンプリーサラダ 下記野菜品目を含む: <i>Brassica spp.</i>	ケールストームミックス	☀	5-10(PMPL)粒/グラム	PMPL	105穴以上の容量	軽くする	18-21°C	2-3	2-3	9-10.5cmポット、または15cmポット、カラーボール等	13-21°C	10-16°C	-	2-4	2-6	出荷鉢への直播きも可能。ケールストームは、温度が低いと葉色が濃く現れる	30-60 cm	30-60 cm	✓			苗が(移植後少したって)ある程度の大きさになったら、地面への定植も可能	
	オレガノ <i>Origanum vulgare</i>	マルチベレット シンプリーハーブズ	☀	277粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-21°C	5-8	4-5	9-10.5cmポット	20-24°C	16-18°C	3-4	4-5	-	出荷鉢への直播きも可能	30-75 cm	30-60 cm					
	パセリ <i>Petroselinum crispum</i>	マルチベレット シンプリーハーブズ -カーリーパセリ -フラットリーフ	☀	30粒/グラム	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-21°C	5-8	4-5	9-10.5cmポット	18-21°C	16-18°C	4-5	4-5			38-45 cm	30-45 cm					
	ペッパー (ホットペッパー) <i>Capsicum annuum</i>	ハラベニョラ・ボンバ	☀	170粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	24-26°C	5-7	5-6	カットバック、9-15cmポット	18-21°C	17-18°C	4-5 (実なし)	4-7 (実なし)		ペッパーは、発芽の段階では塩類(特にアンモニア)に影響を受けやすいので、アンモニアのレベルを常に10ppm未満とする	45-55 cm	30-50 cm					
✓	ペッパー (スイートペッパー) <i>Capsicum annuum</i>	スイートヒート	☀	155粒/グラム	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24°C	5-7	5-6	9-10.5cmポット	20-26°C	18-21°C	-	4-7 (実なし)	-	ペッパーは、発芽の段階では塩類(特にアンモニア)に影響を受けやすいので、アンモニアのレベルを常に10ppm未満とする	25 cm	36 cm				降霜や低温の懸念がない場合は、日あたりのよい露地への配置(定植)も可能	



グロー ワー・ファ クト	植物名	シリーズ/品種名	日照・ 配置	種子 の形 態	推奨されるトレ イのサイズ*	覆土	発芽温度	発芽日数	プラグ育 苗週数	奨励され鉢・コ ンテナのサイズ	プラグ移植後の生産期間/週数 (特に表記がなければ春期)					栽培の要点	草丈(成熟時)	株張長(直径)	耐暑性	耐寒性	その他のアドバイス
											生育適温 (昼間)	生育適温 (夜間)	9cmポッ ト、カット バック等	10-10.5cm ポット	その他のコン テナなど						
✓	ペッパー (スイートペッパー) <i>Capsicum annuum</i>	ケイジャンベル	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24°C	5-7	5-6	10cm前後のポット	20-26°C	18-21°C	-	4-7 (実なし)	-	ペッパーは、発芽の段階では塩類(特にアンモニア)に影響を受けやすいので、アンモニアのレベルを常に10ppm未満とする	60 cm	60 cm	✓		降霜や低温の懸念がない場合は、日あたりのよい露地への配置(定植)も可能
✓	ペッパー (スイートペッパー) <i>Capsicum annuum</i>	キュートスタッフ- レッド -ゴールドII	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	22-24°C	5-7	5-6	10cm前後のポット	20-26°C	18-21°C	-	4-7 (実なし)	-	ペッパーは、発芽の段階では塩類(特にアンモニア)に影響を受けやすいので、アンモニアのレベルを常に10ppm未満とする	45-60 cm	35-50 cm			降霜や低温の懸念がない場合は、日あたりのよい露地への配置(定植)も可能
	ローズマリー <i>Rosmarinus officinalis</i>	マルチベレット シンプリー ハーブズ	☀	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-21°C	5-8	4-5	9-10.5cm ポット	20-24°C	16-18°C	3-4	4-5	-	出荷鉢への直播きも可能	30-60 cm	30-60 cm			
	セージ <i>Salvia officinalis</i>	マルチベレット シンプリー ハーブズ	☀	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	する	20-21°C	5-8	3-4	10cm前後のポット	20-24°C	16-18°C		3-4		出荷鉢への直播きも可能	45-60 cm	35-60 cm	✓		
	スカッシュ (ズッキーニ) <i>Cucurbita pepo</i>	イージービック -グリーン -ゴールド	☀	SED	84穴、またはそれ以上の容量。最終鉢への直播きも可能	する	21-35°C	3-6	2-3	カットバック、10-11cmポット、または15-16cmポットなど	18-21°C	13-16°C	2-3	2-3	6-8(プランター等)	出荷鉢への直播きも可能	90-130 cm	90-130 cm			
	バターナッツ スカッシュ <i>Cucurbita moschata</i>	ハニーナッツ	☀	SED	84穴、またはそれ以上の容量。最終鉢への直播きも可能	する	21-35°C	3-6	2-3	カットバック、10-11cmポット、または15-16cmポットなど	18-21°C	13-16°C	2-3	2-3	3-4	出荷鉢への直播きも可能	20-30 cm	2-3 m			蔓が伸びる植物は、トレリスなどを使うことでガーデンスペースの有効利用可能
	ストロベリー <i>Fragaria x ananassa</i>	フレスカ	☀	SED	288穴トレイ	軽くする	18°C	7-14	4-5	9-10.5cmポット、または25cmバスケット等	16-18°C	16-18°C	-	12-13	13-15	ストロベリーは、発芽の段階では塩類の影響を受けやすい。またウドンコ病かかりやすいので注意して管理する	7-10 cm	25-30 cm			
	タイム <i>Thymus vulgaris</i>	マルチベレット シンプリー ハーブズ	☀	MSP	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	20-21°C	5-8	4-5	10cm前後のポット	16-18°C	13-16°C		4-5			30-45 cm	30-45 cm			
	トマト (デタミネートタイプ) <i>Lycopersicon esculentum</i>	ホームスライス	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	16-29°C	5-8	3-4	10-15cmポット、または15-18cmポット	21-24°C	16-18°C	4-8	4-8	5-8(プランター等)		45-60 cm	60-90 cm			コンテナやプランターで育てやすい品種
	トマト/コンパクト (インデタミネートタイプ) <i>Solanum lycopersicum</i>	タイデイトリーツ	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	16-29°C	5-8	3-4	10-15cmポット、または15-18cmポット	21-24°C	16-18°C	4-8	4-8	5-8(プランター等)		90-150 cm	60-90 cm	✓		インデタミネート(非芯どまり)なのにコンパクトな草姿。コンテナでも地植えでも育てやすい品種
	トマト/コンテナ用 <i>Lycopersicon esculentum</i>	-マイクロトム -トップシートム -タンブラー -リトルナポリ	☀	SED	288から406穴トレイ	軽くする	16-29°C	5-8	3-4	10-15cmポット、または15-18cmポット	21-24°C	17-18°C	4-8	4-8	5-8(プランター等)		30-45 cm (支柱なし)	マイクロトム: 30-45 cm トップシートム、タンブラー: 90-180 cm リトルナポリ: 60-90cm	✓		リトルナポリとマイクロトムはコンテナ栽培用に最適な品種。トップシートムとタンブラーは、コンテナの他、ハンギングで逆さに下垂させて育てることが可能な品種
	トマト (エアリューム マリッジ™ /エアリューム マリアーージュ™) <i>Lycopersicon esculentum</i>	-ビッグブランディ -チェロキー カーボン -ジュニウワイン -マルチネラ -パーフェクト フレーム	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	16-29°C	5-8	3-4	10-15cmポット、または15-18cmポット	21-24°C	16-18°C	4-8	4-8	5-8(プランター等)		150-200cm	90-120 cm	✓		すべてインデタミネート(非芯どまり)タイプの品種なので、定植後は有支柱栽培が適当
	トマト (インデタミネートタイプ) <i>Lycopersicon esculentum</i>	-チョコレート スプリングルズ -オレンジ ジンガー -シュガーラッシュ	☀	SED	288穴、またはそれ以上の容量	軽くする	16-29°C	5-8	3-4	10-15cmポット、または15-18cmポット	21-24°C	16-18°C	4-8	4-8	5-8(プランター等)		150-200cm	90-120 cm	✓		すべてインデタミネート(非芯どまり)タイプの品種なので、定植後は有支柱栽培が適当

Notes

Grower Facts

カリブラコア カブルーム™・シリーズ

Calibrachoa x hybrida

種子の形態と播種後の管理について: 1粒(ペレット)播きする

ステージ	プラグステージ 1	プラグステージ 2	プラグステージ 3	プラグステージ 4	移植後、出荷まで	備考
プラグ苗の具体的な生長段階の様子	発芽から幼根の発生まで(5から7日)*	幼根発生から子葉展開まで	子葉展開から本葉の発現まで	(トレイより)抜き取りが可能な段階		
個体の画像						
培地中の水分	レベル5(湿潤)	レベル4(やや湿潤)	レベル2(やや乾燥)から4(やや湿潤)を反復する	レベル2(やや乾燥)から4(やや湿潤)を反復する		苗を枯らせないように注意する
温度(地温測定)	22.5℃	20℃	18℃	13から18℃(13℃を下回らないように注意)		早朝に天窓や側窓を開けて、温度を下げると草丈の制御に効果がある
光条件(光要求度)	暗室でも可能(ただし覆土はしない)	≥10 moles m <sup>-2</sup> d <sup>-1</sup> (日積算光量(DLI)が10以上)	≥10 moles m <sup>-2</sup> d <sup>-1</sup> (日積算光量(DLI)が10以上)	≥10 moles m <sup>-2</sup> d <sup>-1</sup> (日積算光量(DLI)が10以上)	≥10 moles m <sup>-2</sup> d <sup>-1</sup> (日積算光量(DLI)が10以上)	
pHおよびECの維持管理	ベチュニアと同等に維持管理	ベチュニアと同等に維持管理	ベチュニアと同等に維持管理	ベチュニアと同等に維持管理	栄養繁殖系カリブラコアあるいはベチュニアと同等に維持管理	pHは5.5から5.8の範囲とする。カブルームの肥培では、栄養繁殖系のカリブラコアを参考として、同等の養分を供与する
矮化剤(PGR)処理		フルプリミドール (Flurprimidol): 7から10日で、2,3ppm散布 ダミノジッド (Daminozide)*: 7から10日で、2,500ppm散布 パクロブトラゾール (Paclobutrazol)*: 7から10日で3ppmを散布	10から14日ごとに必要に応じて処理する	10から14日ごとに必要に応じて処理する	移植後7から10日で、パクロブトラゾールを1から3ppmかん注する。必要に応じて反復処理する	抜き取りが可能な大きさの苗が伸び過ぎたり、細長く徒長した場合は、ピンチをするか刈り込む
防疫および防虫管理	栄養繁殖系カリブラコアを参考とする	栄養繁殖系カリブラコアを参考とする	栄養繁殖系カリブラコアを参考とする	栄養繁殖系カリブラコアを参考とする	栄養繁殖系カリブラコアを参考とする	

カブルームの生産期間

プラグ育苗期間		(ピンチなし)プラグ移植から出荷適期まで		
プラグトレイサイズ	播種から移植適期までの育苗週数	各コンテナサイズに適した移植本数	288穴のプラグ移植から100%開花までの週数	播種から100%開花までの生産期間(週数)
288穴	5-6週	10から15cmポット: 1本植え	7-8週	12-13週
128穴	7-8週	25cmバスケットなど: 3本植え	9-11週	14-15週
105穴	7-8週	30cmバスケットなど: 5本植え	9-11週	14-15週
72穴	7-8週			

(品種別の)開花に要する最少日長時間

日長時間	品種名
10時間	カブルーム・イエローおよびホワイト
11時間	カブルーム・ディーブルー
12時間	カブルーム・ディーピンク

植物品種保護登録について

カブルーム・ホワイト: 合衆国1020307 EU、日本、カナダ: 申請中
ブルーム・イエロー: 合衆国1020308 EU、日本、カナダ: 申請中
ブルーム・ディーブルー: 合衆国1020344 EU、日本、カナダ: 申請中
ブルーム・ディーピンク 合衆国、EU、日本、カナダ: 申請中

育苗温度と管理日数の関係

発芽の早い品種グループ	カブルーム・ディーピンク、ホワイト、イエロー - 育苗温度が25℃: ステージ1(発芽)には5日を要する - 育苗温度が20℃: ステージ1(発芽)には5から7日を要する
発芽の遅い品種	カブルーム・ディーブルー - 育苗温度が25℃: ステージ1(発芽)には7から10日を要する - 育苗温度が20℃: ステージ1(発芽)には10日以上を要する



### カリブラコア カブルーム™・シリーズ

Calibrachoa x hybrida

プラグ育苗期の矮化剤とピンチ処理について  
プラグ苗をスタイルのよい株姿に上げるため、矮化剤(PGR)やピンチによる処理が可能である。

#### 矮化剤処理

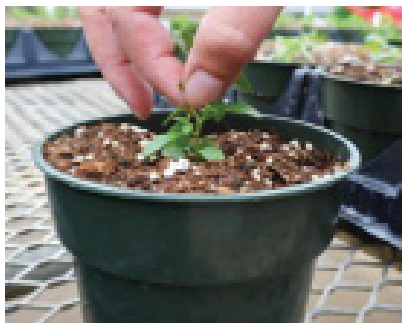
通常カリブラコアの苗は、伸びやすく頂点に向かって勢いよく育つ: 矮化剤処理によって、伸びずに充実した苗の生産を実現: 通常カリブラコアの苗は、伸びやすく頂点に向かって勢いよく育つ: 矮化剤処理によって、伸びずに充実した苗の生産を実現:



矮化剤、未処理の苗      矮化剤で処理した苗      矮化剤、未処理の苗      矮化剤で処理した苗

#### ピンチ処理

ピンチの手順(ピンチは移植時に実施):  
• 4節をめどにソフトピンチする  
• ピンチすることで、ポットでの管理が容易になる  
• ピンチをすると開花は遅れる  
• 開花遅れはタイミングやピンチの度合いによって異なる。



#### ダミノジッド(Daminozide(Bナイン))使用時の注意

• ダミノジッド(Bナイン)は、プラグ育苗の段階では有効なオプションである。※ダミノジッドを使用すると、カブルーム・イエローにおいて、クロロシスによる小斑点が現れることがある。  
• 下の画像は、典型的な同矮化剤による薬害の症状である。フルルプリミドール(ピリミジンメタノール系)やパクロブトラゾール(ボンザイ)ではこのような症状は確認されていない。



### カリブラコア カブルーム™・シリーズ

Calibrachoa x hybrida

パクトブトラゾール(Pacllobutrazol(ボンザイ))使用時の注意  
パクロブトラゾール(ボンザイ)は、プラグ育苗の段階では苗の生長制御に有効である。※カブルーム・ホワイトにおいては、同矮化剤に対して感受性が最も高いため、他の品種よりも生育が遅れる場合がある。パクロブトラゾールは仕上げの段階で、カブルーム各品種において、丈の抑制効果が確認されている。  
また、仕上げの段階においても、パクロブトラゾールはホワイトへの感受性が最も高い。そのため投与の量や頻度が多すぎる場合は、株の生育に障害が発生するので注意が必要。



鉢上げされた後の、ダミノジッドによる処理(左側)とパクロブトラゾールによる処理(右側)の苗の生育比較



カブルーム・イエローとホワイトにおける、パクロブトラゾールによる抑制効果の違い

カリブラコア カブルーム・シリーズ 品種特性				
品種名	(生育・開花の)早晩	開花日長時間	株の旺盛さ(製品時)	形態的特徴
カブルーム・ホワイト	早生	10 時間	おとなしい株質	マウンド型
カブルーム・イエロー	早生	10 時間	強い活力	アップライト
カブルーム・ディープブルー	中間的	11 時間	平均的な活力	ややアップライト
カブルーム・ディープピンク	やや晩生	12 時間	平均的な活力	スプレディング